

フィデリティ・ ファンドラップ・シリーズ

フィデリティ・日本株式・ファンド(ファンドラップ専用)

フィデリティ・欧州株式・ファンド(ファンドラップ専用)

フィデリティ・北米株式・ファンド(ファンドラップ専用)

フィデリティ・英国株式・ファンド(ファンドラップ専用)

フィデリティ・世界総合債券・ファンド(ファンドラップ専用)

フィデリティ・世界ハイ・イールド債券・ファンド(ファンドラップ専用)

フィデリティ・アジア・パシフィック株式・ファンド(ファンドラップ専用)

フィデリティ・オルタナティブ株式・ファンド(ファンドラップ専用)

フィデリティ・世界新興国株式・ファンド(ファンドラップ専用)

フィデリティ・世界リート・ファンド(ファンドラップ専用)

交付運用報告書

第3期(決算日 2023年8月30日)

作成対象期間(2022年8月31日～2023年8月30日)

〈お問合せ先〉

フィデリティ投信株式会社

カスタマー・コミュニケーション部

東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI



0120-00-8051 (無料)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時



<https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

フィデリティ投信株式会社



Fidelity
INTERNATIONAL

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

さて、「フィデリティ・日本株式・ファンド(ファンドラップ専用)」は、第3期の決算を行ないました。当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本の株式等へ投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

お問い合わせ先

お問い合わせ先

フィデリティ投信株式会社
カスタマー・コミュニケーション部
東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 **0120-00-8051** (無料)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページから下記の手順で閲覧、ダウンロードできます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報」より「基準価額一覧」を選択⇒当ファンドの「運用レポート目録見書等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

フィデリティ・日本株式・ファンド (ファンドラップ専用)

追加型投信／国内／株式

交付運用報告書

第3期(決算日 2023年8月30日)

作成対象期間(2022年8月31日～2023年8月30日)

日経新聞掲載名:フ日本株FW

第3期末
(決算日 2023年8月30日)

基準価額	12,520円
純資産総額	168百万円
第3期 (2022年8月31日～2023年8月30日)	
騰落率	15.5%
分配金合計	0円

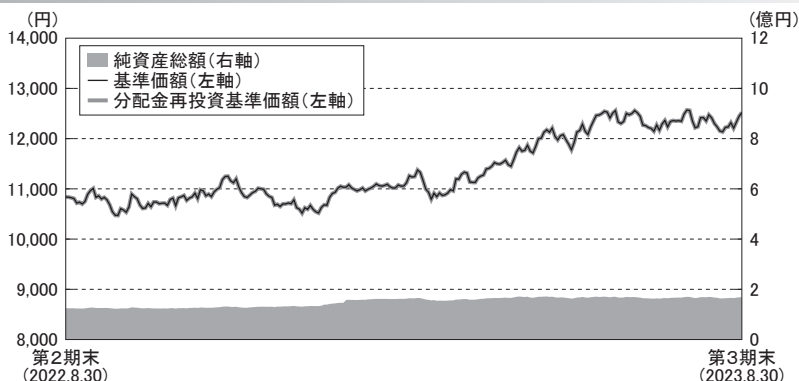
(注)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

フィデリティ投信株式会社



1. 運用経過の説明

① 基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、2022年8月30日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

② 基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの騰落率は、+15.5%でした。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本の株式等へ投資を行います。

<プラス要因>

- ・ 中小型株が堅調に推移したこと
- ・ 金融及び資本財・サービスといった業種が堅調に推移したこと
- ・ 三菱UFJフィナンシャル・グループなどの銘柄がプラスに寄与したこと

<マイナス要因>

- ・ オリnpas、ミルボンなどの銘柄がマイナスに寄与したこと

③ 1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	2022年8月31日～2023年8月30日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	46円	0.407%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は11,375円です。
(投信会社)	(19)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(25)	(0.220)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.022)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	12	0.106	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(1)	(0.006)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
(監査費用)	(4)	(0.037)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
(その他)	(7)	(0.064)	その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	58	0.513	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

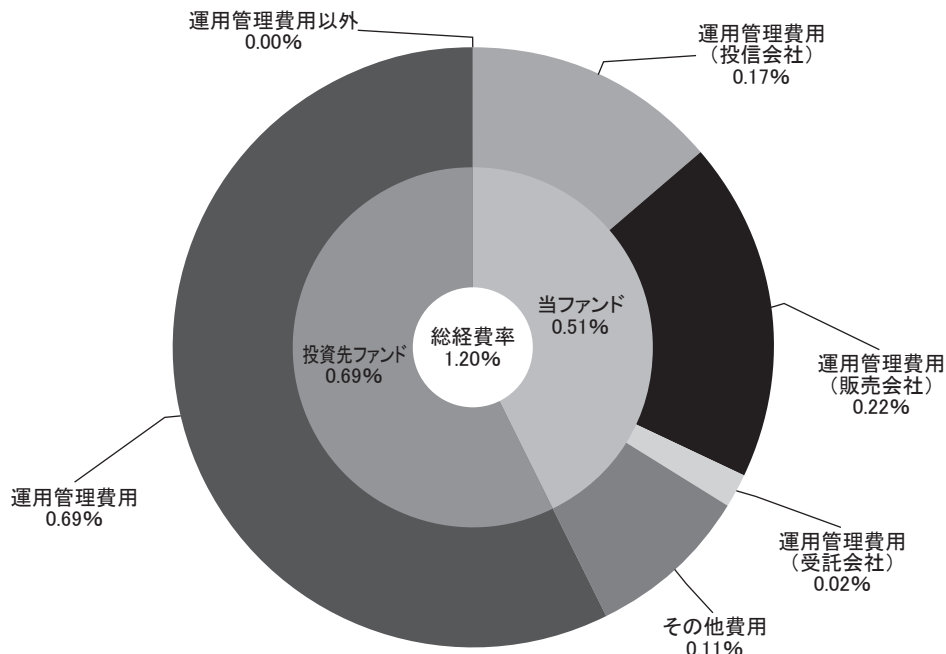
(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.20%です。



総経費率(①+②+③)	1.20%
①当ファンドの費用の比率	0.51%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4)各比率は、年率換算した値です。

(注5)投資先ファンドとは、当ファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注6)①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7)①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

④最近5年間の基準価額等の推移



	2020年12月15日 設定日	2021年8月30日 決算日	2022年8月30日 決算日	2023年8月30日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,968	10,838	12,520
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	9.7	△1.2	15.5
純資産総額 (百万円)	26	74	124	168

(注1) 分配金再投資基準価額は、当ファンドの設定日(2020年12月15日)を起点として計算しています。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑤投資環境

当期の日本株式市場は海外投資家の資金流入がけん引役となり、数十年ぶりとなる高値水準を付けました。一方で、大型株を中心とした上昇にとどまりました。東京証券取引所の市場区分の再編やコーポレートガバナンス改革への取り組みが進展したことに加え、好調な企業業績が投資家心理を後押しした格好です。また、日銀の金融緩和の継続と円安が株高を支える形となりました。日米を中心とした内外の金融政策の乖離が再認識される中、円安圧力が高まり、2023年6月には一時、1ドル=145円を突破し、2022年11月以来となる円安水準となりました。こうした状況の下、投資スタイルの観点からは、バリュー株が鉄鋼、銀行、卸売などの大型株にけん引され、上昇しました。また、著名投資家が注目しているとした商社や半導体関連も好調に推移しました。一方で、内需関連銘柄やディフェンシブセクターが軟調に推移した他、小型成長株も出遅れました。

⑥ポートフォリオ

当ファンドは、主として以下の投資信託証券(投資対象ファンド)に投資を行います。なお、短期金融商品に直接投資を行う場合があります。

- ・フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・ジャパン・エクイティ・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)
- ・フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本の株式等へ投資を行い、投資信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。当期につきましても、そのように運用を行いました。

⑦ベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑧分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第3期
	2022年8月31日～2023年8月30日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	2,520

- * 「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- * 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- * 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

2. 今後の運用方針

当ファンドにつきましては、「フィデリティ・コモン・コントラクトリアル・ファンドⅡーフィデリティ・ジャパン・エクイティ・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)」、「フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」の投資信託証券への投資を通じて、実質的な運用を当該ファンドにおいて行います。今後も、弊社のグローバルなリサーチ能力を活用し、質が高く、持続的かつ合理的で予測可能なリターンの実現に向けて、世界中のあらゆる情報を組み合わせ、最高の投資アイデアと投資機会を追求していく方針です。

3. お知らせ

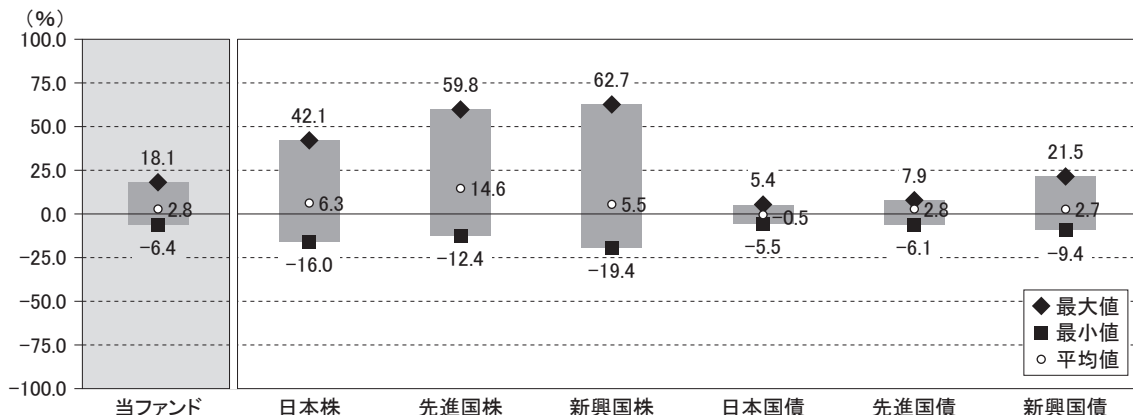
該当事項はありません。

4. 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	原則として無期限(2020年12月15日設定)
運用方針	投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
主要投資対象	主として、「フィデリティ・コモン・コントラクトリアル・ファンドⅡーフィデリティ・ジャパン・エクイティ・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)」および「フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」に投資を行ないます。なお、短期金融商品に直接投資を行なう場合があります。
運用方法	<ul style="list-style-type: none">●主として、投資信託証券に投資を行ないます。●投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本の株式等へ投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
分配方針	毎決算時(原則8月30日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行ないます。 <ul style="list-style-type: none">●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行なうものではありません。●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行ないます。

5. 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 当ファンドは2020年12月15日に設定されたため2021年12月～2023年7月の期間、他の代表的な資産クラスについては2018年8月～2023年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示しております。当グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、指数提供元にて円換算しています。

* 詳細は後述の「指数に関して」をご参照下さい。

6. 当ファンドのデータ

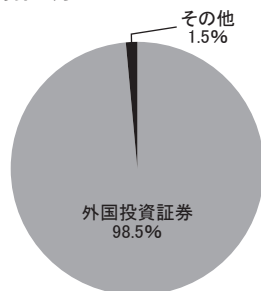
①組入資産の内容

組入上位ファンド

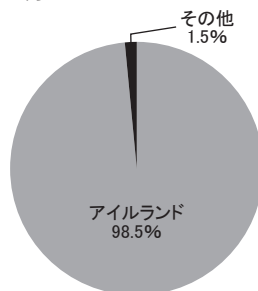
(2023年8月30日現在)

ファンド名	組入比率
フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡー フィデリティ・ジャパン・エクイティ・ファンド	98.5%
フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド	0.1
組入ファンド数	2ファンド

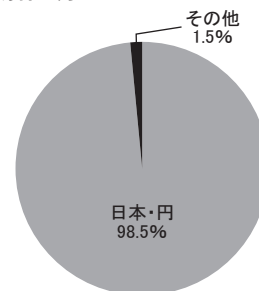
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注3) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

②純資産等

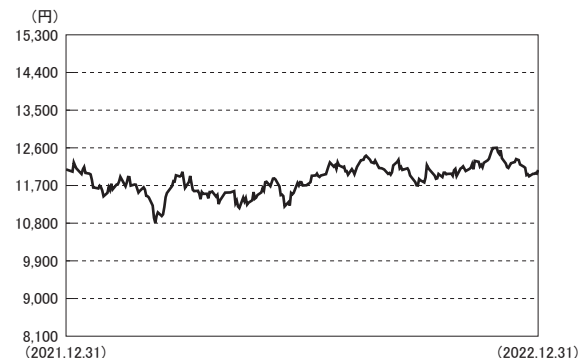
項目	当期末	
	2023年8月30日	
純資産総額		168,656,129円
受益権総口数		134,707,579口
1万口当たり基準価額		12,520円

(注) 当期中における追加設定元本額は62,950,363円、同解約元本額は42,879,696円です。

③組入上位ファンドの概要

フィデリティ・コモン・コントラクトリアル・ファンドIーフィデリティ・ジャパン・エクイティ・ファンド（別途記載がない限り2022年12月31日現在）

基準価額の推移



※グラフは、1口当たり純資産価格の推移を示しています。

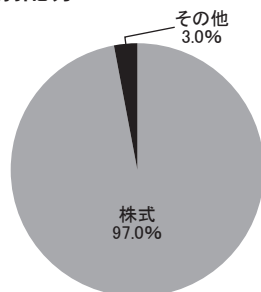
組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	ASTELLAS PHARMA INC /JPY/	3.2%
2	NINTENDO CO LTD /JPY/	2.7
3	YAKULT HONSHA CO LTD /JPY/	2.6
4	KAO CORP /JPY/	2.5
5	TAKEDA PHARMACEUTICAL CO LTD /JPY/	2.5
6	SHISEIDO CO LTD /JPY/	2.0
7	TOKIO MARINE HOLDINGS INC /JPY/	1.9
8	CALBEE INC /JPY/	1.9
9	MILBON CO LTD /JPY/	1.8
10	OBIC BUSINESS CONSULTANTS /JPY/	1.7
組入銘柄数		221銘柄

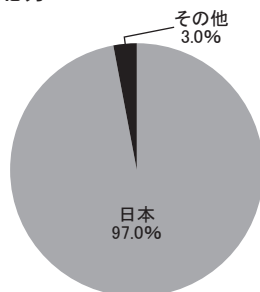
1万口当たりの費用明細

当ファンドの1万口当たりの費用は算出されていないため開示できません。

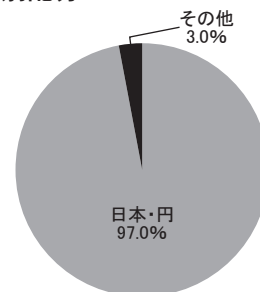
資産別配分



国別配分



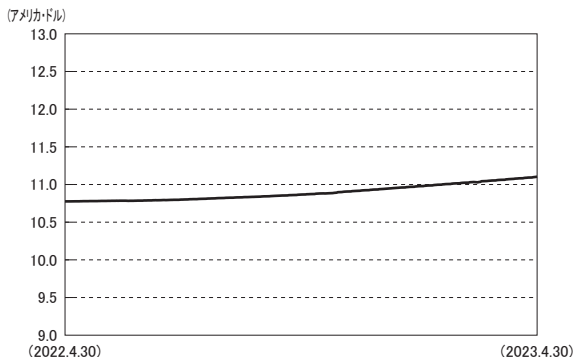
通貨別配分



(注)各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

* Fidelity Internationalの資料に基づき作成しております。

フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド 基準価額の推移



※グラフは、1口当たり純資産価格の推移を示しています。

(別途記載がない限り2023年4月30日現在)

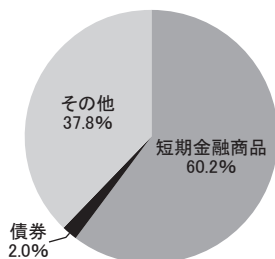
組入上位10銘柄

	銘柄名	国・地域	比率
1	Austria CP 4.85% 03/05/2023	オーストリア	3.5%
2	Sweden CP 4.88% 03/05/2023	スウェーデン	2.9
3	Mitsu Finance CP 4.98% 17/05/2023	イギリス	2.3
4	NAB VCD 0.44% 15/05/2023	オーストラリア	2.3
5	SG Issuer -0.80% 07/03/2024	ルクセンブルグ	2.0
6	Landeskreditbank CP 4.84% 03/05/2023	ドイツ	1.7
7	Royal Bank of Canada CD 0.46% 04/05/2023	カナダ	1.7
8	Mizuho London CD 5.50% 05/07/2023	イギリス	1.7
9	Cooperatieve CD 0.48% 17/05/2023	オランダ	1.2
10	Barclays CD 10.03% 02/05/2023	イギリス	1.2
組入銘柄数		59銘柄	

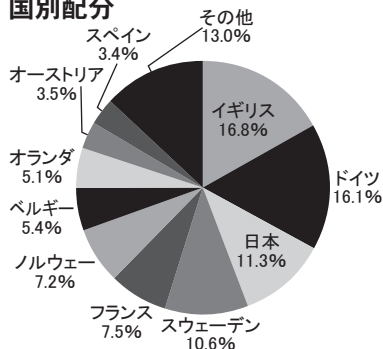
1万口当たりの費用明細

当ファンドの1万口当たりの費用は算出されていないため開示できません。

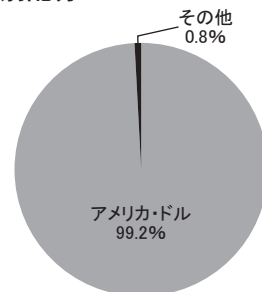
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

(注3) 国・地域及び国別配分は、発行国・地域を表示しています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

指数に関して

●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載の指数について

日本株	TOPIX(配当込)	東証株価指数(TOPIX)(以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、エマージング諸国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
日本国債	NOMURA-BPI 国債	NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びNOMURA-BPI 国債に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)	この情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J. P. モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。このインデックスは使用許諾を得て使用しています。 J. P. モルガンによる書面による事前の承諾なくこのインデックスを複写、使用、頒布することは禁じられています。 Copyright © 2022 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複写・転載を禁じます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

さて、「フィデリティ・欧州株式・ファンド(ファンドラップ専用)」は、第3期の決算を行ないました。当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に欧州(除く英国)の株式等へ投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

〈お問合せ先〉

フィデリティ投信株式会社
カスタマー・コミュニケーション部
東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 **0120-00-8051** (無料)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページから下記の手順で閲覧、ダウンロードできます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報」より「基準価額一覧」を選択⇒当ファンドの「運用レポート目録見書等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

フィデリティ・欧州株式・ファンド (ファンドラップ専用)

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第3期(決算日 2023年8月30日)
作成対象期間(2022年8月31日～2023年8月30日)

日経新聞掲載名: フ欧州株FW

第3期末
(決算日 2023年8月30日)

基準価額	12,651円
純資産総額	160百万円
第3期 (2022年8月31日～2023年8月30日)	
騰落率	11.3%
分配金合計	0円

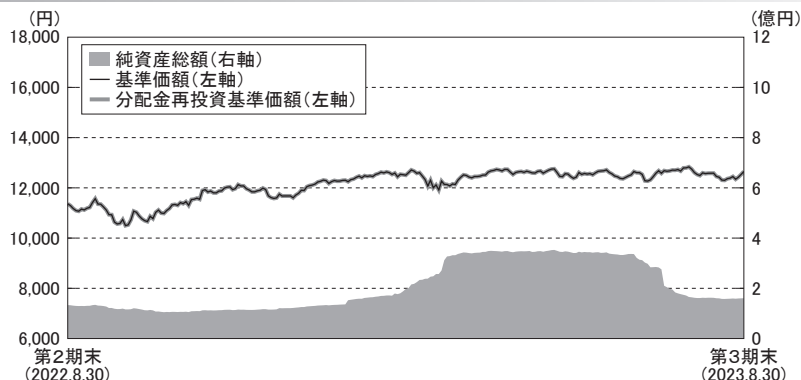
(注)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

フィデリティ投信株式会社



1. 運用経過の説明

① 基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、2022年8月30日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

② 基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの騰落率は、+11.3%でした。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に欧州(除く英国)の株式等へ投資を行います。

<プラス要因>

- ・ 金融、資本財・サービスを中心に多くの業種が好調に推移したこと
- ・ SAPなどの銘柄がプラスに寄与したこと
- ・ フランス株、ドイツ株などが上昇したこと
- ・ 中小型株が堅調に推移したこと

<マイナス要因>

- ・ Roche Holdingなどの銘柄がマイナスに寄与したこと
- ・ 大型株が軟調に推移したこと

③ 1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	2022年8月31日～2023年8月30日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	49円	0.407%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は12,118円です。
(投信会社)	(20)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(27)	(0.220)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.022)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	13	0.108	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(1)	(0.007)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
(監査費用)	(4)	(0.036)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
(その他)	(8)	(0.066)	その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	62	0.515	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

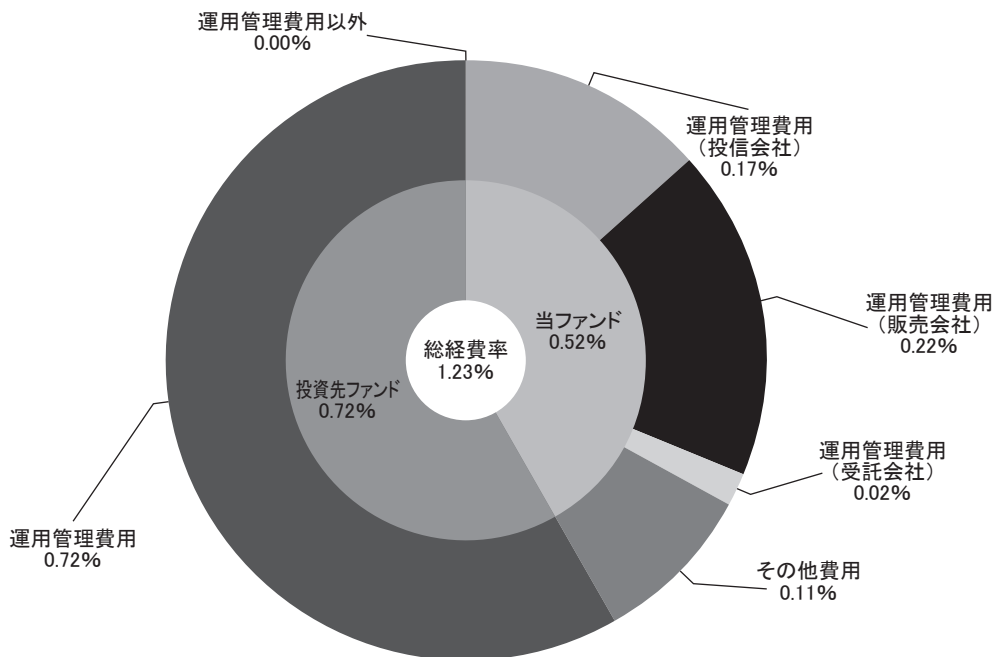
(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.23%です。



総経費率(①+②+③)	1.23%
①当ファンドの費用の比率	0.52%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.72%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4)各比率は、年率換算した値です。

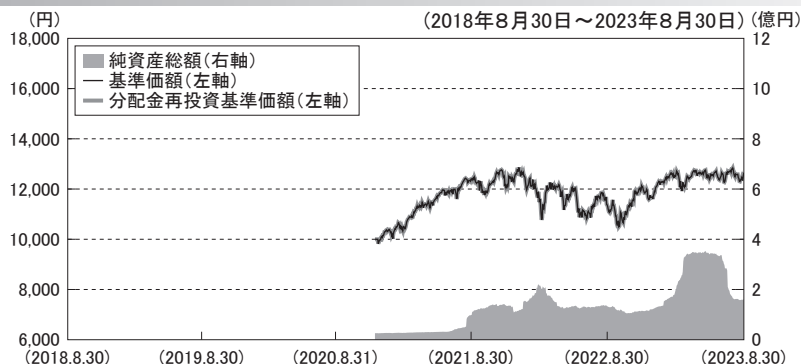
(注5)投資先ファンドとは、当ファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注6)①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7)①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

④最近5年間の基準価額等の推移



	2020年12月15日 設定日	2021年8月30日 決算日	2022年8月30日 決算日	2023年8月30日 決算日
基準価額 (円)	10,000	12,396	11,366	12,651
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	24.0	△8.3	11.3
純資産総額 (百万円)	26	98	133	160

(注1) 分配金再投資基準価額は、当ファンドの設定日(2020年12月15日)を起点として計算しています。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑤投資環境

当期の欧州株式市場は上昇しました。期初はインフレ懸念の高まりを受け、主要中央銀行によるタカ派的な姿勢が強まりました。また、ロシアによるウクライナへの侵攻に伴う地政学リスクが引き続き逆風となりました。2023年年初は、暖冬だったことからエネルギー需要が抑えられ、天然ガス価格が下落し、エネルギー危機は回避されました。その後3月に米地方銀行のシリコンバレー銀行やシグネチャー銀行の経営破綻に続き、スイス大手銀行のクレディ・スイスが経営危機に陥るなど、金融不安が世界に波及するとの懸念が高まりましたが、堅調な企業業績や中国の経済活動再開の動き、米国のヘッドライン・インフレ率の低下などが投資家心理を下支えする形となりました。一方で、中国の製造業活動を示す指標が縮小し、国内の需要低迷が示唆されたことから、中国の景気回復については投資家の懸念が残りました。期後半は、ユーロ圏のインフレ率の鈍化傾向が続いたことや中国の金融市場の活性化に向けた支援策などに対する期待感が市場の安心感につながりました。また、ユーロ圏の4－6月期GDP(国内総生産)が前期比で小幅なプラス成長が示されたことも投資家心理を下支えました。

⑥ポートフォリオ

当ファンドは、主として以下の投資信託証券(投資対象ファンド)に投資を行います。なお、短期金融商品に直接投資を行う場合があります。

- ・フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡ－フィデリティ・ヨーロッパ(除く英国)・エクイティ・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)
- ・フィデリティ・ファンズーUSDル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に欧州(除く英国)の株式等へ投資を行い、投資信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。当期につきましても、そのように運用を行いました。

⑦ベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑧分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第3期
	2022年8月31日～2023年8月30日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	2,651

- * 「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- * 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- * 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

2. 今後の運用方針

当ファンドにつきましては、「フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・ヨーロッパ(除く英国)・エクイティ・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)」、「フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」の投資信託証券への投資を通じて、実質的な運用を当該ファンドにおいて行います。今後も、弊社のグローバルなリサーチ能力を活用し、質が高く、持続的かつ合理的で予測可能なリターンの実現に向けて、世界中のあらゆる情報を組み合わせ、最高の投資アイデアと投資機会を追求していく方針です。

3. お知らせ

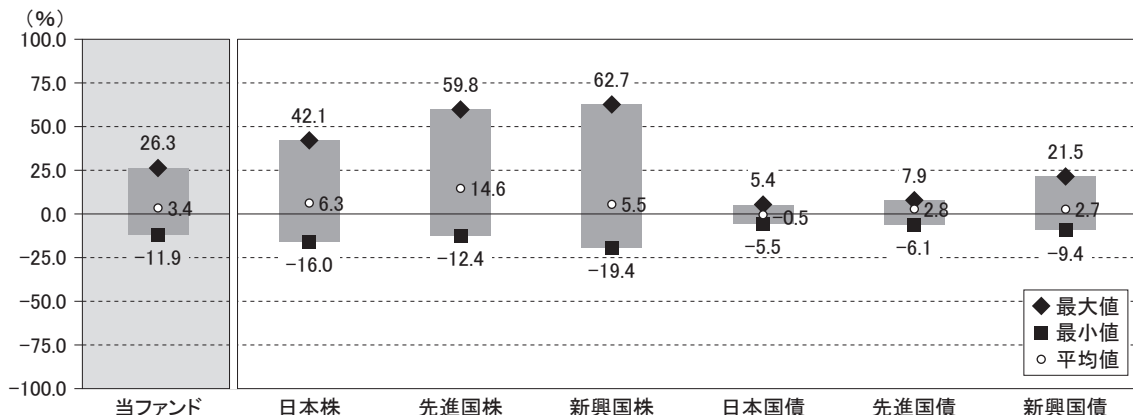
該当事項はありません。

4. 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	原則として無期限(2020年12月15日設定)
運用方針	投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
主要投資対象	主として、「フィデリティ・コモン・コントラクト・ファンドⅡーフィデリティ・ヨーロッパ(除く英国)・エクイティ・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)」および「フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」に投資を行ないます。なお、短期金融商品に直接投資を行なう場合があります。
運用方法	<ul style="list-style-type: none">●主として、投資信託証券に投資を行ないます。●投資信託証券への投資を通じて、実質的に欧州(除く英国)の株式等へ投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
分配方針	毎決算時(原則8月30日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行ないます。 <ul style="list-style-type: none">●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行なうものではありません。●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行ないます。

5. 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 当ファンドは2020年12月15日に設定されたため2021年12月～2023年7月の期間、他の代表的な資産クラスについては2018年8月～2023年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示しております。当グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、指数提供元にて円換算しています。

* 詳細は後述の「指数に関して」をご参照下さい。

6. 当ファンドのデータ

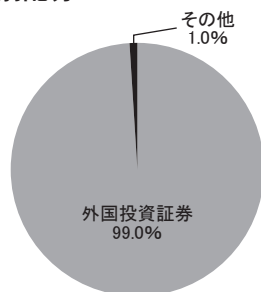
①組入資産の内容

組入上位ファンド

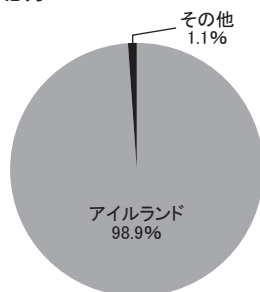
(2023年8月30日現在)

ファンド名	組入比率
フィデリティ・コモン・コントラクトリアル・ファンドⅡー フィデリティ・ヨーロッパ(除く英国)・エクイティ・ファンド	98.9%
フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド	0.1
組入ファンド数	2ファンド

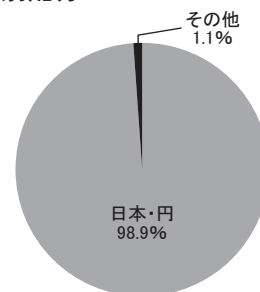
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注3) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

②純資産等

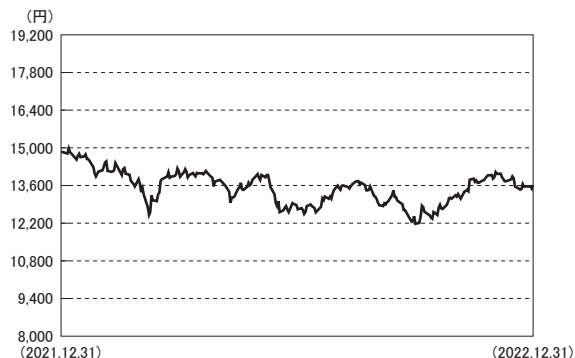
項目	当期末	
	2023年8月30日	
純資産総額		160,594,616円
受益権総口数		126,938,157口
1万口当たり基準価額		12,651円

(注) 当期中における追加設定元本額は223,590,660円、同解約元本額は213,825,916円です。

③組入上位ファンドの概要

フィデリティ・コモン・コントラクト・ファンドII-フィデリティ・ヨーロッパ(除く英国)・エクイティ・ファンド(別途記載がない限り2022年12月31日現在)

基準価額の推移



※グラフは、1口当たり純資産価格の推移を示しています。

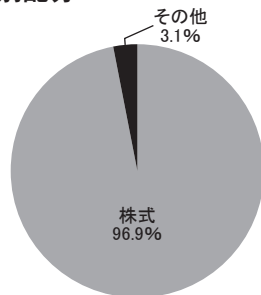
組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN /CHF/	5.0%
2	NESTLE SA-REG /CHF/	3.3
3	NOVARTIS AG-REG /CHF/	2.8
4	CAPGEMINI SE /EUR/	2.2
5	SCHNEIDER ELEC SA /EUR/	2.0
6	LINDE PLC /EUR/	1.9
7	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI /EUR/	1.8
8	SAP SE /EUR/	1.8
9	NOVO NORDISK A/S-B /DKK/	1.8
10	TOTALENERGIES SE /EUR/	1.7
組入銘柄数		260銘柄

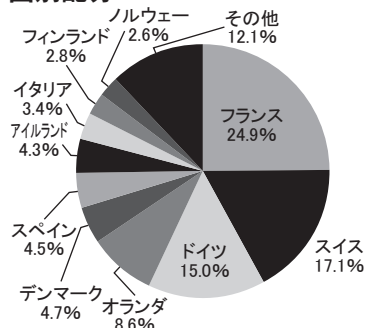
1万口当たりの費用明細

当ファンドの1万口当たりの費用は算出されていないため開示できません。

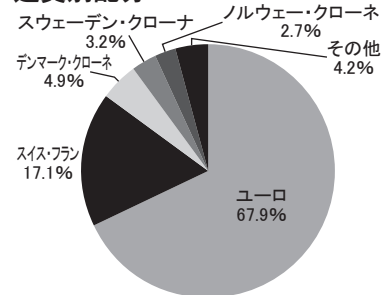
資産別配分



国別配分



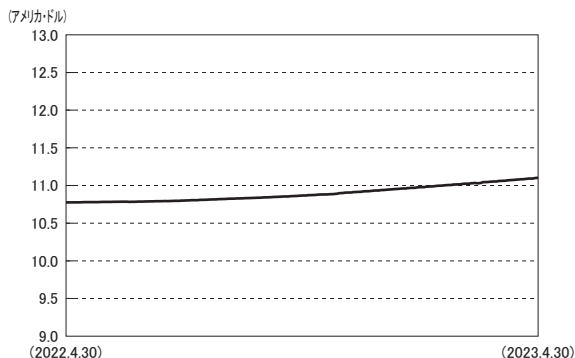
通貨別配分



(注)各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

* Fidelity Internationalの資料に基づき作成しております。

フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド 基準価額の推移



※グラフは、1口当たり純資産価格の推移を示しています。

(別途記載がない限り2023年4月30日現在)

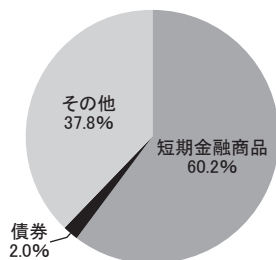
組入上位10銘柄

	銘柄名	国・地域	比率
1	Austria CP 4.85% 03/05/2023	オーストリア	3.5%
2	Sweden CP 4.88% 03/05/2023	スウェーデン	2.9
3	Mitsu Finance CP 4.98% 17/05/2023	イギリス	2.3
4	NAB VCD 0.44% 15/05/2023	オーストラリア	2.3
5	SG Issuer -0.80% 07/03/2024	ルクセンブルグ	2.0
6	Landeskreditbank CP 4.84% 03/05/2023	ドイツ	1.7
7	Royal Bank of Canada CD 0.46% 04/05/2023	カナダ	1.7
8	Mizuho London CD 5.50% 05/07/2023	イギリス	1.7
9	Cooperatieve CD 0.48% 17/05/2023	オランダ	1.2
10	Barclays CD 10.03% 02/05/2023	イギリス	1.2
組入銘柄数		59銘柄	

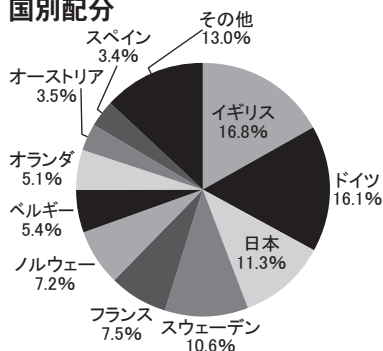
1万口当たりの費用明細

当ファンドの1万口当たりの費用は算出されていないため開示できません。

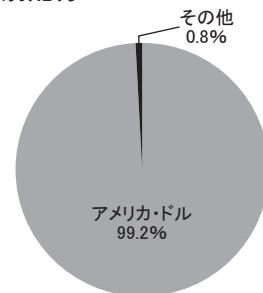
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

(注3) 国・地域及び国別配分は、発行国・地域を表示しています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

指数に関して

●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載の指数について

日本株	TOPIX (配当込)	東証株価指数 (TOPIX) (以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (税引前配当金込/円ベース)	MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (税引前配当金込/円ベース)	MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、エマージング諸国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
日本国債	NOMURA-BPI 国債	NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びNOMURA-BPI 国債に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	この情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J. P. モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。このインデックスは使用許諾を得て使用しています。 J. P. モルガンによる書面による事前の承諾なくこのインデックスを複写、使用、頒布することは禁じられています。 Copyright © 2022 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複写・転載を禁じます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

さて、「フィデリティ・北米株式・ファンド(ファンドラップ専用)」は、第3期の決算を行ないました。当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に北米の株式等へ投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

〈お問合せ先〉

フィデリティ投信株式会社
カスタマー・コミュニケーション部
東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 **0120-00-8051** (無料)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページから下記の手順で閲覧、ダウンロードできます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報」より「基準価額一覧」を選択⇒当ファンドの「運用レポート目録見書等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

フィデリティ・北米株式・ファンド (ファンドラップ専用)

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第3期(決算日 2023年8月30日)
作成対象期間(2022年8月31日～2023年8月30日)

日経新聞掲載名: フ北米株FW

第3期末
(決算日 2023年8月30日)

基準価額	11,591円
純資産総額	1,638百万円
第3期 (2022年8月31日～2023年8月30日)	
騰落率	7.3%
分配金合計	0円

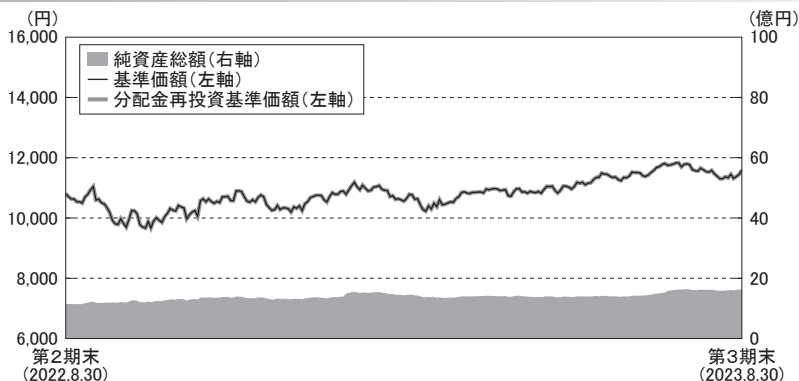
(注)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

フィデリティ投信株式会社



1. 運用経過の説明

① 基準価額等の推移



第3期首: 10,804円

第3期末: 11,591円(既払分配金0円)

騰落率: 7.3%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、2022年8月30日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

② 基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの騰落率は、+7.3%でした。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に北米の株式等へ投資を行います。

<プラス要因>

- ・ 情報技術といった業種がプラスに寄与したこと
- ・ 大型株がプラスに寄与したこと
- ・ NVIDIA、Microsoftなどの銘柄がプラスに寄与したこと

<マイナス要因>

- ・ 不動産、公益事業といった業種がマイナスに寄与したこと
- ・ Charles Schwabなどの銘柄がマイナスに寄与したこと

③ 1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	2022年8月31日～2023年8月30日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	44円	0.407%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は10,810円です。
(投信会社)	(18)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(24)	(0.220)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	9	0.083	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(0)	(0.003)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
(監査費用)	(2)	(0.022)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
(その他)	(6)	(0.059)	その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	53	0.490	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

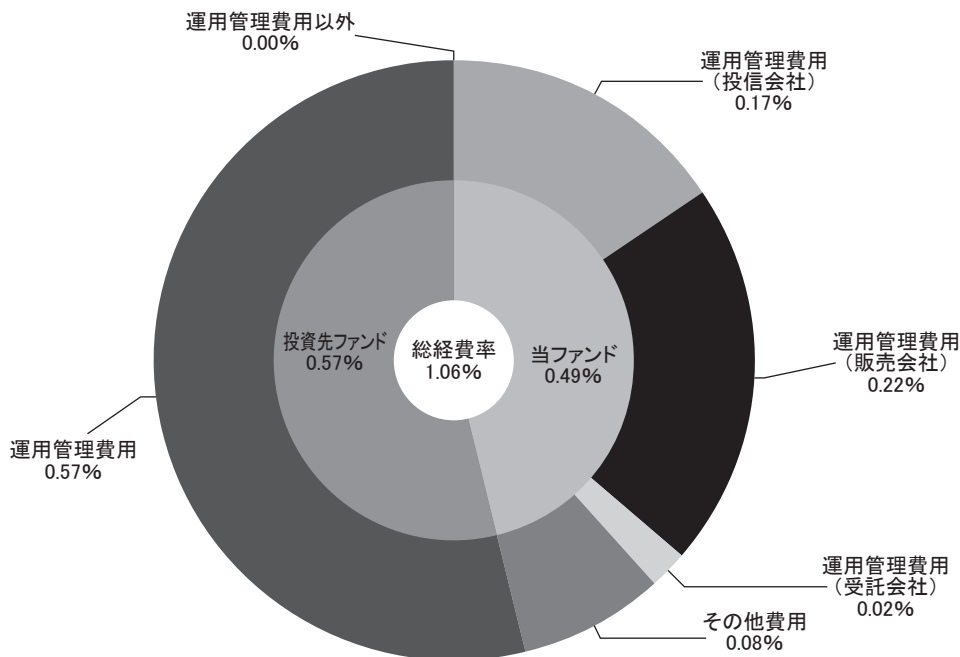
(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.06%です。



総経費率(①+②+③)	1.06%
①当ファンドの費用の比率	0.49%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4)各比率は、年率換算した値です。

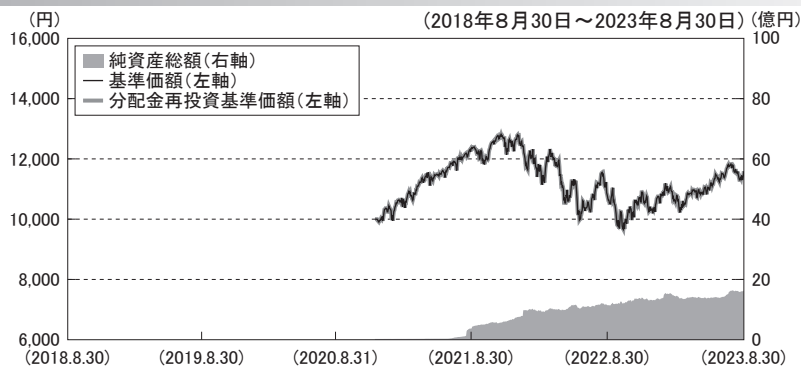
(注5)投資先ファンドとは、当ファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注6)①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7)①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

④最近5年間の基準価額等の推移



	2020年12月15日 設定日	2021年8月30日 決算日	2022年8月30日 決算日	2023年8月30日 決算日
基準価額 (円)	10,000	12,333	10,804	11,591
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	23.3	△12.4	7.3
純資産総額 (百万円)	26	372	1,147	1,638

(注1) 分配金再投資基準価額は、当ファンドの設定日(2020年12月15日)を起点として計算しています。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑤投資環境

当期の北米株式市場は上昇しました。期初は、米国で国内の半導体産業振興を目的とするCHIPS法に加え、税制改正や気候変動対策、ヘルスケア措置などを盛り込んだインフレ抑制法が成立しました。両法律は長期的な視点での政策措置として、その効果が発現するまでには数年かかると見られるものの、市場では法律の成立を受けて楽観的な見方が広がりました。2023年に入ると、市場は好調な企業業績に支えられる展開となった一方、根強いインフレ圧力や景気後退懸念等が投資家心理の下押し圧力となりました。また、3月には米地方銀行のシリコンバレー銀行やシグネチャー銀行の経営破綻に続き、スイス大手銀行のクレディ・スイスが経営危機に陥るなど、金融市場のボラティリティが高まり、市場は下落したものの、主要中央銀行が迅速に対応した他、破綻した銀行の預金などを他行が引き受けたことなどから、市場は落ち着きを取り戻しました。5月には、米国の債務上限問題を巡る懸念が高まったことが市場の重石となりましたが、米連邦政府の債務上限の効力を一時的に停止する法案が超党派の賛成多数で可決されたことから、債務不履行は回避されました。7月は4-6月期の好調な企業決算が市場を下支えしたものの、8月は米国債の格下げなどを背景に市場は下落しました。こうした状況の下、情報技術、コミュニケーション・サービス、資本財・サービスが最も上昇した一方、公益事業や不動産は下落しました。

⑥ポートフォリオ

当ファンドは、主として以下の投資信託証券(投資対象ファンド)に投資を行います。なお、短期金融商品に直接投資を行う場合があります。

- ・フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・ノースアメリカ・エクイティ・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)
- ・フィデリティ・ファンズーUSDル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に北米の株式等へ投資を行い、投資信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。当期につきましても、そのように運用を行いました。

⑦ベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑧分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第3期
	2022年8月31日～2023年8月30日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,590

- * 「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- * 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- * 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

2. 今後の運用方針

当ファンドにつきましては、「フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・ノースアメリカ・エクイティ・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)」、「フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」の投資信託証券への投資を通じて、実質的な運用を当該ファンドにおいて行います。今後も、弊社のグローバルなリサーチ能力を活用し、質が高く、持続的かつ合理的で予測可能なリターンの実現に向けて、世界中のあらゆる情報を組み合わせ、最高の投資アイデアと投資機会を追求していく方針です。

3. お知らせ

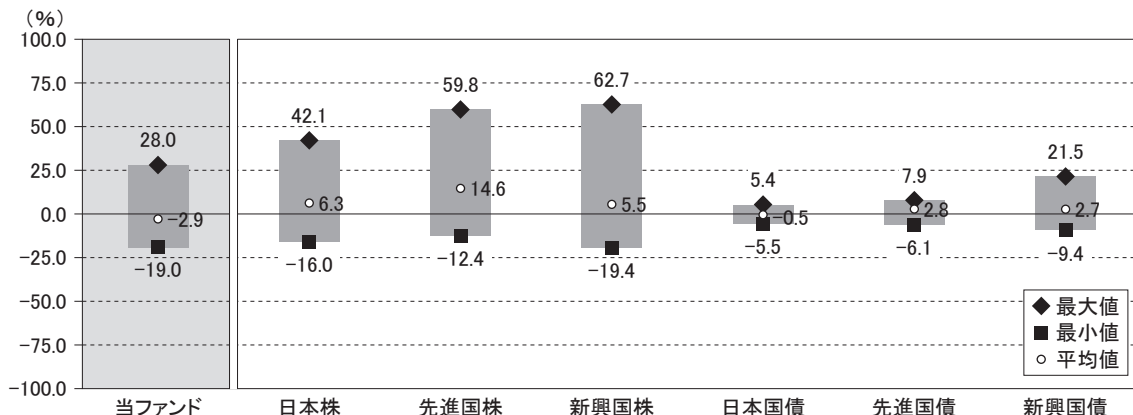
該当事項はありません。

4. 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	原則として無期限(2020年12月15日設定)
運用方針	投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
主要投資対象	主として、「フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・ノースアメリカ・エクイティ・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)」および「フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」に投資を行いません。なお、短期金融商品に直接投資を行なう場合があります。
運用方法	<ul style="list-style-type: none">●主として、投資信託証券に投資を行いません。●投資信託証券への投資を通じて、実質的に北米の株式等へ投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
分配方針	毎決算時(原則8月30日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行いません。 <ul style="list-style-type: none">●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行なうものではありません。●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いません。

5. 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 当ファンドは2020年12月15日に設定されたため2021年12月～2023年7月の期間、他の代表的な資産クラスについては2018年8月～2023年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示しております。当グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、指数提供元にて円換算しています。

* 詳細は後述の「指数に関して」をご参照下さい。

6. 当ファンドのデータ

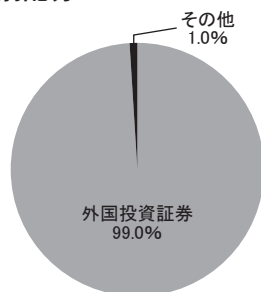
①組入資産の内容

組入上位ファンド

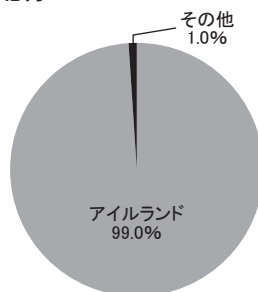
(2023年8月30日現在)

ファンド名	組入比率
フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡー フィデリティ・ノースアメリカ・エクイティ・ファンド	99.0%
フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド	0.1
組入ファンド数	2ファンド

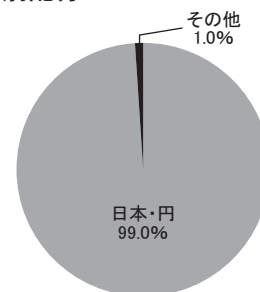
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注3) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

②純資産等

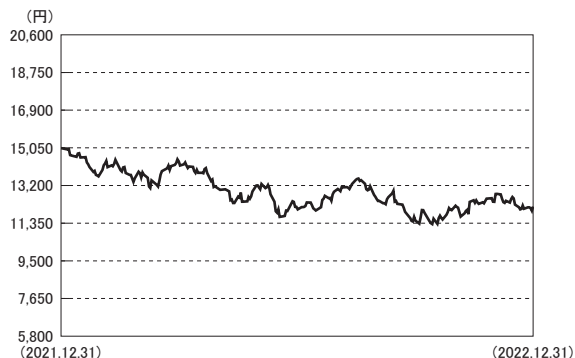
項目	当期末	
	2023年8月30日	
純資産総額	1,638,114,290円	
受益権総口数	1,413,283,263口	
1万口当たり基準価額	11,591円	

(注) 当期中における追加設定元本額は881,038,967円、同解約元本額は529,407,344円です。

③組入上位ファンドの概要

フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドII-フィデリティ・ノースアメリカ・エクイティ・ファンド(別途記載がない限り2022年12月31日現在)

基準価額の推移



※グラフは、1口当たり純資産価格の推移を示しています。

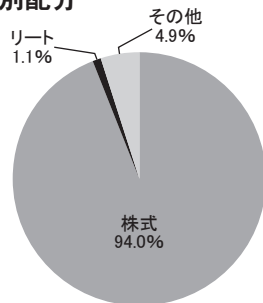
組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	MICROSOFT CORP	4.5%
2	VISA INC-CLASS A SHARES	2.6
3	ALPHABET INC-CL C	2.1
4	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	2.0
5	AMAZON.COM INC	1.9
6	DANAHER CORP	1.8
7	UNITEDHEALTH GROUP INC	1.7
8	APPLE INC	1.5
9	ELI LILLY & CO	1.4
10	MASTERCARD INC - A	1.4
組入銘柄数		181銘柄

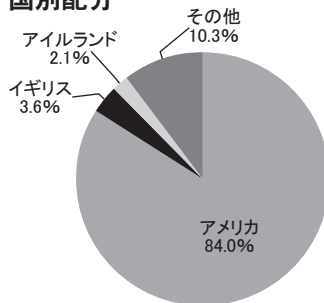
1万口当たりの費用明細

当ファンドの1万口当たりの費用は算出されていないため開示できません。

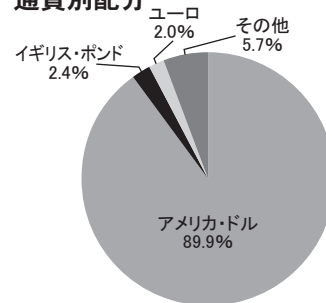
資産別配分



国別配分



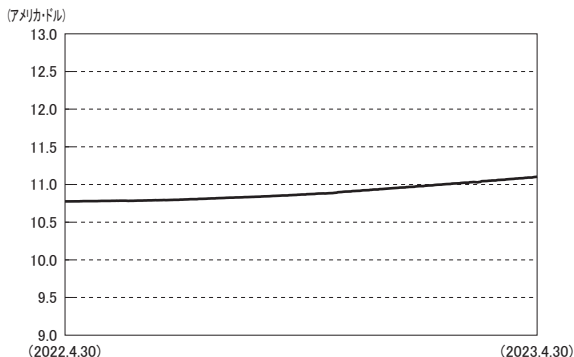
通貨別配分



(注)各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

* Fidelity Internationalの資料に基づき作成しております。

フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド 基準価額の推移



※グラフは、1口当たり純資産価格の推移を示しています。

(別途記載がない限り2023年4月30日現在)

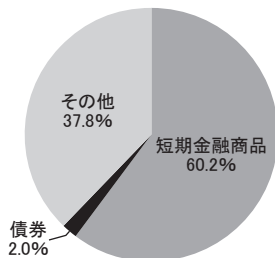
組入上位10銘柄

	銘柄名	国・地域	比率
1	Austria CP 4.85% 03/05/2023	オーストリア	3.5%
2	Sweden CP 4.88% 03/05/2023	スウェーデン	2.9
3	Mitsu Finance CP 4.98% 17/05/2023	イギリス	2.3
4	NAB VCD 0.44% 15/05/2023	オーストラリア	2.3
5	SG Issuer -0.80% 07/03/2024	ルクセンブルグ	2.0
6	Landeskreditbank CP 4.84% 03/05/2023	ドイツ	1.7
7	Royal Bank of Canada CD 0.46% 04/05/2023	カナダ	1.7
8	Mizuho London CD 5.50% 05/07/2023	イギリス	1.7
9	Cooperatieve CD 0.48% 17/05/2023	オランダ	1.2
10	Barclays CD 10.03% 02/05/2023	イギリス	1.2
組入銘柄数		59銘柄	

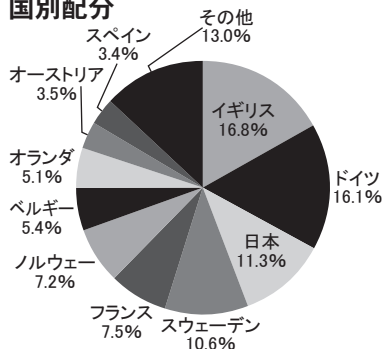
1万口当たりの費用明細

当ファンドの1万口当たりの費用は算出されていないため開示できません。

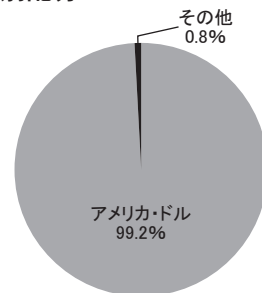
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

(注3) 国・地域及び国別配分は、発行国・地域を表示しています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

指数に関して

●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載の指数について

日本株	TOPIX (配当込)	東証株価指数 (TOPIX) (以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (税引前配当金込/円ベース)	MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (税引前配当金込/円ベース)	MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、エマージング諸国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
日本国債	NOMURA-BPI 国債	NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びNOMURA-BPI 国債に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	この情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J. P. モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。このインデックスは使用許諾を得て使用しています。 J. P. モルガンによる書面による事前の承諾なくこのインデックスを複写、使用、頒布することは禁じられています。 Copyright © 2022 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複写・転載を禁じます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

さて、「フィデリティ・英国株式・ファンド(ファンドラップ専用)」は、第3期の決算を行ないました。当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に英国の株式等へ投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

お問い合わせ先

お問い合わせ先

フィデリティ投信株式会社
カスタマー・コミュニケーション部
東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 **0120-00-8051** (無料)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページから下記の手順で閲覧、ダウンロードできます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報」より「基準価額一覧」を選択⇒当ファンドの「運用レポート目録見書等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

フィデリティ・英国株式・ファンド (ファンドラップ専用)

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第3期(決算日 2023年8月30日)
作成対象期間(2022年8月31日～2023年8月30日)

日経新聞掲載名: フ英国株FW

第3期末
(決算日 2023年8月30日)

基準価額	11,249円
純資産総額	178百万円
第3期 (2022年8月31日～2023年8月30日)	
騰落率	0.8%
分配金合計	0円

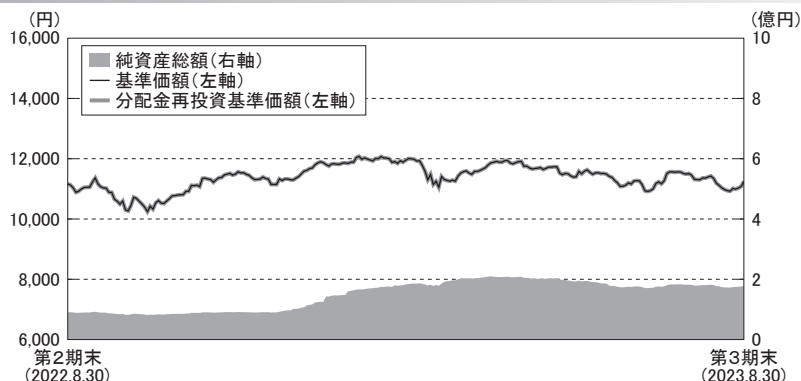
(注)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

フィデリティ投信株式会社



1. 運用経過の説明

① 基準価額等の推移



第3期首: 11,165円

第3期末: 11,249円 (既払分配金0円)

騰落率: 0.8% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、2022年8月30日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

② 基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの騰落率は、+0.8%でした。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に英国の株式等へ投資を行います。

＜プラス要因＞

- ・ 資本財・サービス、一般消費財・サービスといった業種がプラスに寄与したこと
- ・ Novo Nordisk、RELXなどの銘柄がプラスに寄与したこと

＜マイナス要因＞

- ・ 金融、素材といった業種がマイナスに寄与したこと
- ・ St James's Place、British American Tobaccoなどの銘柄がマイナスに寄与したこと

③ 1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	2022年8月31日～2023年8月30日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	46円	0.407%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は11,383円です。
(投信会社)	(19)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(25)	(0.220)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.022)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	12	0.109	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(1)	(0.007)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
(監査費用)	(5)	(0.040)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
(その他)	(7)	(0.063)	その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	59	0.516	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

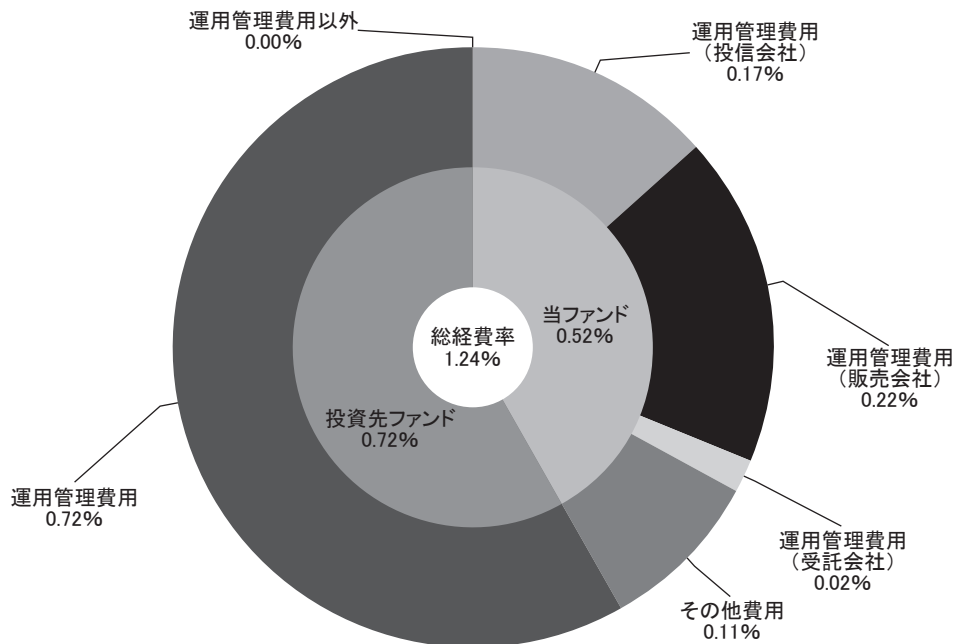
(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.24%です。



総経費率(①+②+③)	1.24%
①当ファンドの費用の比率	0.52%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.72%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4)各比率は、年率換算した値です。

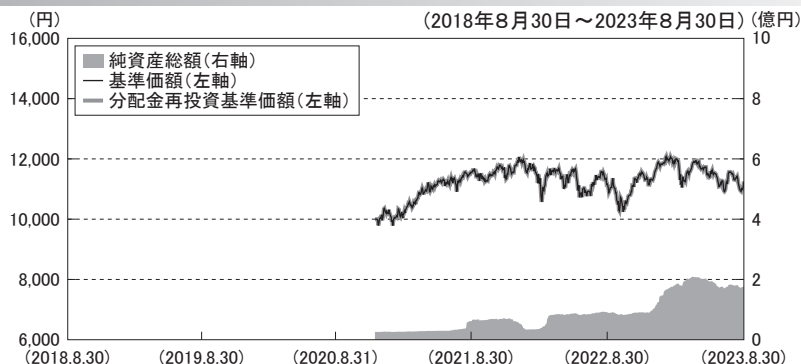
(注5)投資先ファンドとは、当ファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注6)①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7)①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

④最近5年間の基準価額等の推移



	2020年12月15日 設定日	2021年8月30日 決算日	2022年8月30日 決算日	2023年8月30日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,554	11,165	11,249
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	15.5	△3.4	0.8
純資産総額 (百万円)	26	61	90	178

(注1) 分配金再投資基準価額は、当ファンドの設定日(2020年12月15日)を起点として計算しています。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑤投資環境

当期の英国株式市場は、景気後退への根強い懸念や金融引き締め、中国の景気回復のばらつき等、多くの課題に直面する中、上昇して期を終えました。期初の2022年9月は、英国の大型減税策の発表による財政悪化の懸念から市場は急落しましたが、その後、減税策の大部分が撤回されたことを受けて市場は持ち直しました。11月初めには米国のインフレ圧力に緩和の兆しが見られたことなどから、米連邦準備制度理事会(FRB)が利上げのペースを減速させるのではないかと期待が高まったものの、主要先進国において予想以上に堅調な経済指標が示され、欧州中央銀行(ECB)を中心に利上げが長期化するのではないかと懸念につながりました。期中盤の2023年3月には米地方銀行のシリコンバレー銀行やシグネチャー銀行の経営破綻に続き、スイス大手銀行のクレディ・スイスが経営危機に陥るなど、金融不安が世界に波及するとの懸念が広がり、金融市場のボラティリティが高まりましたが、主要中央銀行が迅速に対応したことなどから、市場は落ち着きを取り戻しました。その後5月は、米国の債務上限問題を巡る懸念が高まったことが再び投資家心理の重石となりましたが、米連邦政府の債務上限の効力を一時的に停止する法案が超党派の賛成多数で可決されたことから、債務不履行は回避されました。しかし、中国の相次ぐ軟調な経済指標を背景に市場には不透明感が広がりました。英国のインフレ率は、先進国の中でも最も高い水準で推移しており、英イングランド銀行(BOE)は期終盤の8月に0.25%幅の利上げを実施し、政策金利を5.25%に引き上げました。これに伴い住宅ローン金利は更に上昇しました。こうした懸念材料があったものの、期後半は、インフレ率の鈍化や景気減速の兆しを踏まえ、各国中央銀行は金融引き締めの手を緩めざるを得なくなるのではないかとの見方から、投資家心理の改善が続きました。

⑥ポートフォリオ

当ファンドは、主として以下の投資信託証券(投資対象ファンド)に投資を行います。なお、短期金融商品に直接投資を行う場合があります。

- ・フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・UK・エクイティ・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)
- ・フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に英国の株式等へ投資を行い、投資信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。当期につきましても、そのように運用を行いました。

⑦ベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑧分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第3期
	2022年8月31日～2023年8月30日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,336

- * 「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- * 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- * 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

2. 今後の運用方針

当ファンドにつきましては、「フィデリティ・コモン・コントラクトリアル・ファンドⅡーフィデリティ・UK・エクイティ・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)」、「フィデリティ・ファンズーUSDル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」の投資信託証券への投資を通じて、実質的な運用を当該ファンドにおいて行います。今後も、弊社のグローバルなリサーチ能力を活用し、質が高く、持続的かつ合理的で予測可能なリターンの実現に向けて、世界中のあらゆる情報を組み合わせ、最高の投資アイデアと投資機会を追求していく方針です。

3. お知らせ

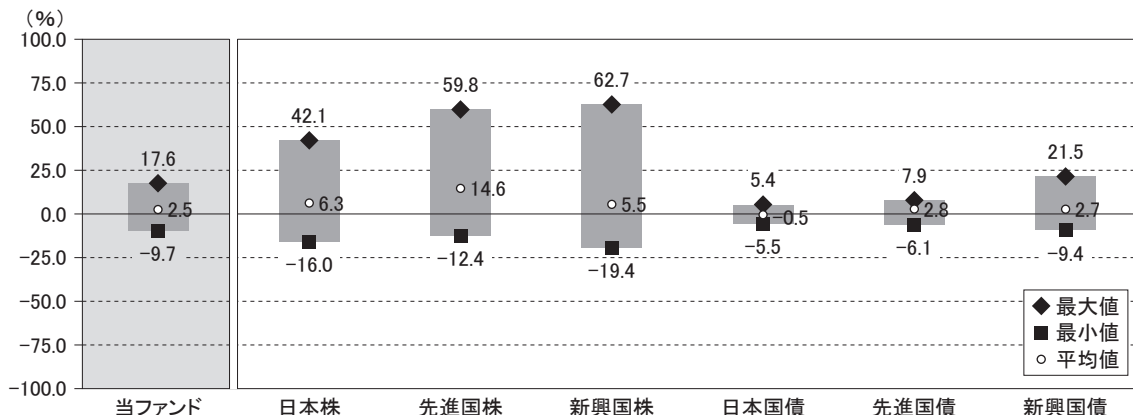
該当事項はありません。

4. 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	原則として無期限(2020年12月15日設定)
運用方針	投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
主要投資対象	主として、「フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・UK・エクイティ・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)」および「フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」に投資を行ないます。なお、短期金融商品に直接投資を行なう場合があります。
運用方法	<ul style="list-style-type: none">●主として、投資信託証券に投資を行ないます。●投資信託証券への投資を通じて、実質的に英国の株式等へ投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
分配方針	毎決算時(原則8月30日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行ないます。 <ul style="list-style-type: none">●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行なうものではありません。●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行ないます。

5. 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 当ファンドは2020年12月15日に設定されたため2021年12月～2023年7月の期間、他の代表的な資産クラスについては2018年8月～2023年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示しております。当グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、指数提供元にて円換算しています。

* 詳細は後述の「指数に関して」をご参照下さい。

6. 当ファンドのデータ

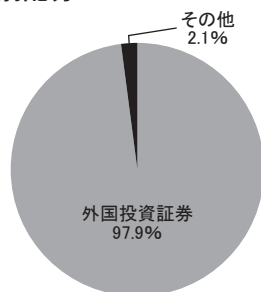
①組入資産の内容

組入上位ファンド

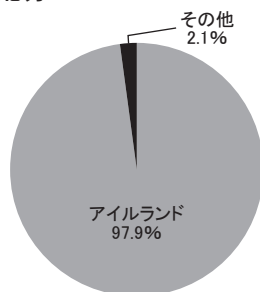
(2023年8月30日現在)

ファンド名	組入比率
フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡー フィデリティ・UK・エクイティ・ファンド	97.9%
フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド	0.1
組入ファンド数	2ファンド

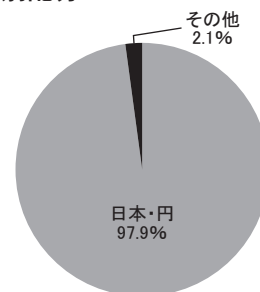
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注3) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

②純資産等

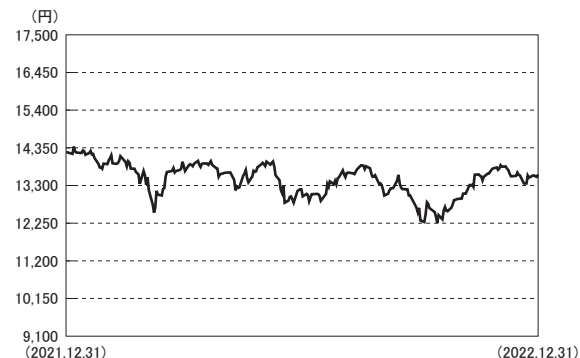
項目	当期末	
	2023年8月30日	
純資産総額		178,049,864円
受益権総口数		158,280,097口
1万口当たり基準価額		11,249円

(注) 当期中における追加設定元本額は126,606,014円、同解約元本額は49,571,511円です。

③組入上位ファンドの概要

フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドII-フィデリティ・UK・エクイティ・ファンド（別途記載がない限り2022年12月31日現在）

基準価額の推移



※グラフは、1口当たり純資産価格の推移を示しています。

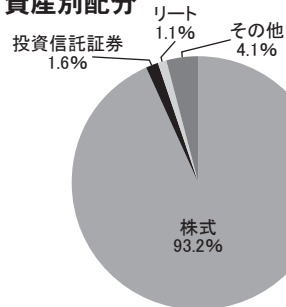
組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	ASTRAZENECA PLC /GBP/	4.0%
2	SHELL PLC-NEW /GBP/	4.0
3	UNILEVER PLC /GBP/	3.3
4	BP PLC /GBP/	2.9
5	RELX PLC /GBP/	2.6
6	DIAGEO PLC /GBP/	2.5
7	NATWEST GROUP PLC /GBP/	2.4
8	RECKITT BENCKISER GROUP PLC /GBP/	2.3
9	GLENCORE PLC /GBP/	2.0
10	ST JAMES'S PLACE PLC /GBP/	1.8
組入銘柄数		170銘柄

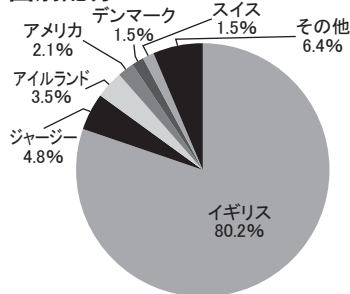
1万口当たりの費用明細

当ファンドの1万口当たりの費用は算出されていないため開示できません。

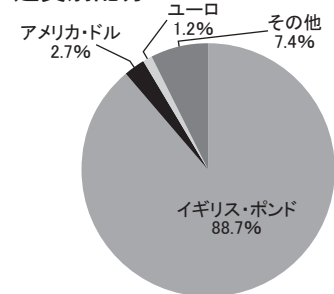
資産別配分



国別配分



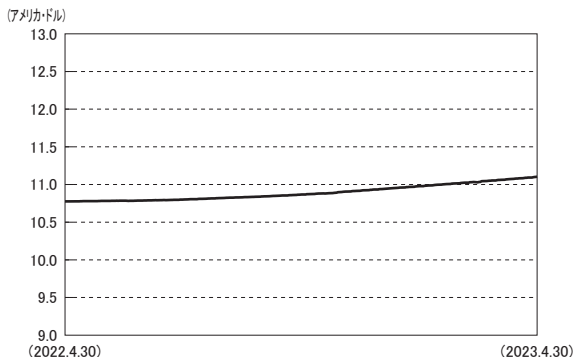
通貨別配分



(注) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

* Fidelity Internationalの資料に基づき作成しております。

フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド 基準価額の推移



※グラフは、1口当たり純資産価格の推移を示しています。

(別途記載がない限り2023年4月30日現在)

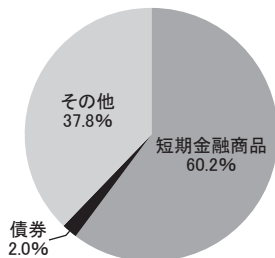
組入上位10銘柄

	銘柄名	国・地域	比率
1	Austria CP 4.85% 03/05/2023	オーストリア	3.5%
2	Sweden CP 4.88% 03/05/2023	スウェーデン	2.9
3	Mitsu Finance CP 4.98% 17/05/2023	イギリス	2.3
4	NAB VCD 0.44% 15/05/2023	オーストラリア	2.3
5	SG Issuer -0.80% 07/03/2024	ルクセンブルグ	2.0
6	Landeskreditbank CP 4.84% 03/05/2023	ドイツ	1.7
7	Royal Bank of Canada CD 0.46% 04/05/2023	カナダ	1.7
8	Mizuho London CD 5.50% 05/07/2023	イギリス	1.7
9	Cooperatieve CD 0.48% 17/05/2023	オランダ	1.2
10	Barclays CD 10.03% 02/05/2023	イギリス	1.2
組入銘柄数		59銘柄	

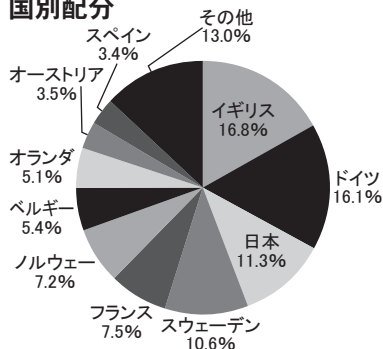
1万口当たりの費用明細

当ファンドの1万口当たりの費用は算出されていないため開示できません。

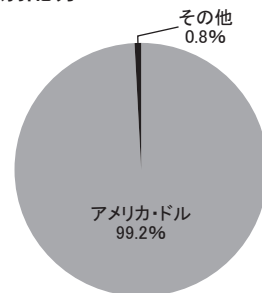
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

(注3) 国・地域及び国別配分は、発行国・地域を表示しています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

指数に関して

●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載の指数について

日本株	TOPIX (配当込)	東証株価指数 (TOPIX) (以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (税引前配当金込/円ベース)	MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (税引前配当金込/円ベース)	MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、エマージング諸国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
日本国債	NOMURA-BPI 国債	NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びNOMURA-BPI 国債に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	この情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J. P. モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。このインデックスは使用許諾を得て使用しています。 J. P. モルガンによる書面による事前の承諾なくこのインデックスを複写、使用、頒布することは禁じられています。 Copyright © 2022 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複写・転載を禁じます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

さて、「フィデリティ・世界総合債券・ファンド(ファンドラップ専用)」は、第3期の決算を行ないました。当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界の債券等(ハイ・イールド債券、投資適格債券、エマージング・マーケット債券を含む)へ投資を行ない、収益の確保と投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

〈お問合せ先〉

フィデリティ投信株式会社
カスタマー・コミュニケーション部
東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 **0120-00-8051** (無料)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページから下記の手順で閲覧、ダウンロードできます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報」より「基準価額一覧」を選択⇒当ファンドの「運用レポート目録見書等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

フィデリティ・世界総合債券・ファンド (ファンドラップ専用)

追加型投信／内外／債券

交付運用報告書

第3期(決算日 2023年8月30日)
作成対象期間(2022年8月31日～2023年8月30日)

日経新聞掲載名: フ世界債FW

第3期末
(決算日 2023年8月30日)

基準価額	8,308円
純資産総額	768百万円
第3期 (2022年8月31日～2023年8月30日)	
騰落率	△5.6%
分配金合計	0円

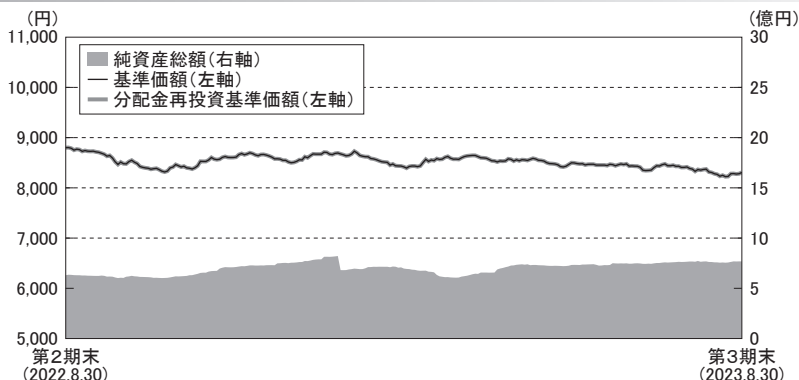
(注)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

フィデリティ投信株式会社



1. 運用経過の説明

① 基準価額等の推移



第3期首: 8,800円

第3期末: 8,308円 (既払分配金0円)

騰落率: -5.6% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、2022年8月30日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

② 基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの騰落率は、-5.6%でした。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界の債券等(ハイ・イールド債券、投資適格債券、エマージング・マーケット債券を含む)等へ投資を行います。

＜プラス要因＞

- ・ メキシコ、コロンビアの債券がプラスに寄与したこと
- ・ 短期債券がプラスに寄与したこと

＜マイナス要因＞

- ・ 米国、日本、ドイツの債券がマイナスに寄与したこと
- ・ 国債、モーゲージ証券、金融債がマイナスに寄与したこと
- ・ 超長期債券がマイナスに寄与したこと

③ 1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	2022年8月31日～2023年8月30日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	35円	0.407%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は8,520円です。
(投信会社)	(14)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(19)	(0.220)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	8	0.088	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(0)	(0.004)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
(監査費用)	(1)	(0.012)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
(その他)	(6)	(0.073)	その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	42	0.495	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

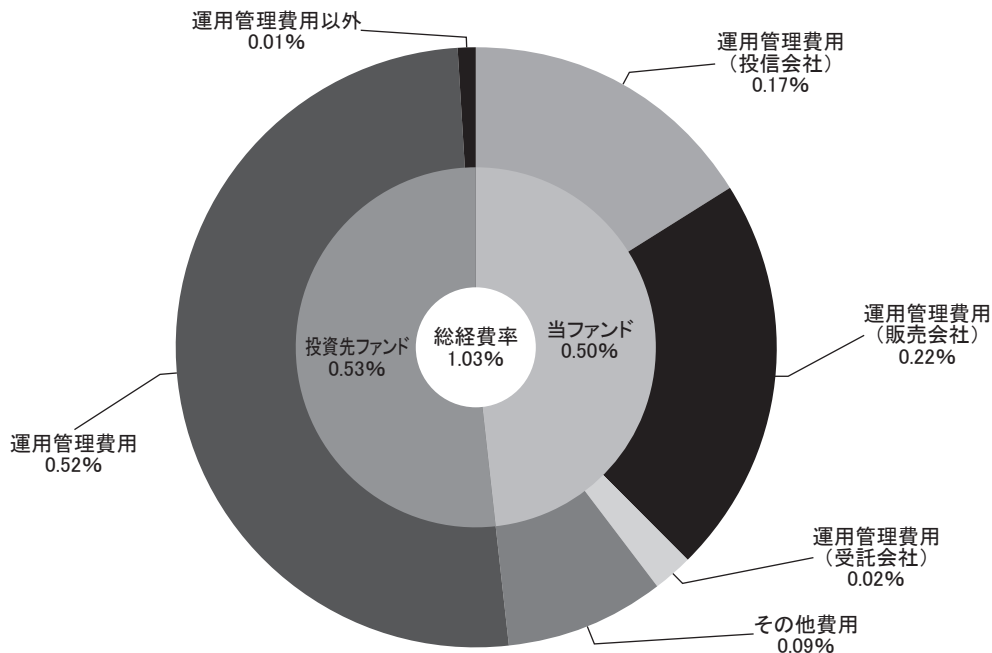
(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.03%です。



総経費率(①+②+③)	1.03%
①当ファンドの費用の比率	0.50%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.52%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4)各比率は、年率換算した値です。

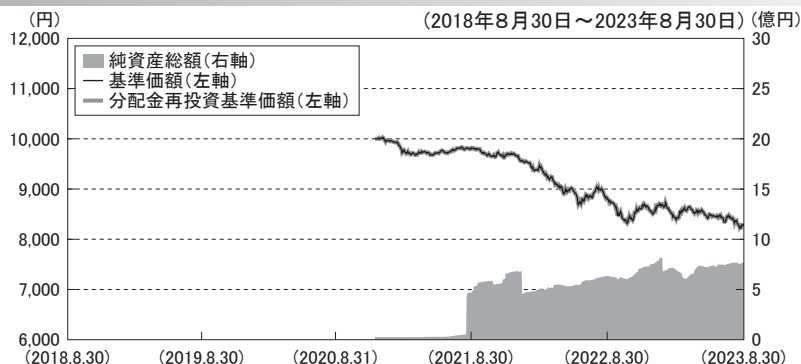
(注5)投資先ファンドとは、当ファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注6)①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7)①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

④最近5年間の基準価額等の推移



	2020年12月15日 設定日	2021年8月30日 決算日	2022年8月30日 決算日	2023年8月30日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,804	8,800	8,308
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△2.0	△10.2	△5.6
純資産総額 (百万円)	26	469	630	768

(注1) 分配金再投資基準価額は、当ファンドの設定日(2020年12月15日)を起点として計算しています。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑤投資環境

当期の世界の債券市場はボラティリティの高い状況で、社債が国債を上回るパフォーマンスを見せるなどまちまちの展開となりました。市場はインフレ率の上昇や主要中央銀行の前例のない積極的な金融引き締めに加え、利上げによる世界的な景気後退に対する懸念などに直面しました。期初はロシアによるウクライナへの侵攻やサプライチェーンの混乱、欧州におけるエネルギー危機、新型コロナウイルスによる中国のロックダウンなどが世界経済の減速懸念を一段と高める展開となりました。その後2022年末から2023年初にかけては、中国が新型コロナウイルスを巡る防疫政策の緩和に踏み切り、経済活動再開への期待が高まったことなどを背景に、投資家心理は持ち直しました。また、クレジット市場は、企業のファンダメンタルズが比較的安定していることや世界的に利上げペースが鈍化するのではないかとの見方が広がり、底堅く推移しました。2023年2月には欧州の天然ガス価格が18カ月ぶりの低水準となりましたが、一定のタイムラグがあることから生活費への波及効果は限定的なものとなりました。その後3月には米地方銀行のシリコンバレー銀行やシグネチャー銀行の経営破綻に続き、スイス大手銀行のクレディ・スイスが経営危機に陥るなど、金融不安が世界に波及すると懸念が高まりました。5月は、中国の景気回復の勢いが鈍化していることや米国の債務上限問題を巡る懸念などが市場の下押し圧力となりましたが、その後、米国の債務上限問題については、債務上限を一時的に停止する法案が米議会で可決し、債務不履行が回避されたことから、市場は落ち着きを取り戻しました。また、米国及びユーロ圏のヘッドラインインフレ率が予想以上に鈍化したことなどが投資家心理を改善させた他、米国の4-6月期の実質GDP成長率が前期比プラス成長となり、堅調な改善が示されたことから世界経済のソフトランディング(軟着陸)への期待が高まりました。一方で、期終盤には米国債の格下げなどを背景に市場はリスクオフの動きが広がりました。社債市場では、景気減速懸念が後退したことなどを背景にクレジット・スプレッドが縮小しました。ハイ・イールド債券については健全なバランスシートや資本市場環境の改善などがクレジット・スプレッドの縮小を下支えし、投資適格債券をアウトパフォーマンスしました。

⑥ポートフォリオ

当ファンドは、主として以下の投資信託証券(投資対象ファンド)に投資を行います。なお、短期金融商品に直接投資を行う場合があります。

- ・フィデリティ・コモン・コンストラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・グローバル・アグリゲート・ボンド・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)
- ・フィデリティ・ファンズーUSDル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界の債券等(ハイ・イールド債券、投資適格債券、エマージング・マーケット債券を含む)へ投資を行い、投資信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。当期につきましても、そのように運用を行いました。

⑦ベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑧分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第3期
	2022年8月31日～2023年8月30日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	0

- * 「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- * 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- * 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

2. 今後の運用方針

当ファンドにつきましては、「フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・グローバル・アグリゲート・ボンド・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)」、「フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」の投資信託証券への投資を通じて、実質的な運用を当該ファンドにおいて行います。今後も、弊社のグローバルなリサーチ能力を活用し、質が高く、持続的かつ合理的で予測可能なリターンの実現に向けて、世界中のあらゆる情報を組み合わせ、最高の投資アイデアと投資機会を追求していく方針です。

3. お知らせ

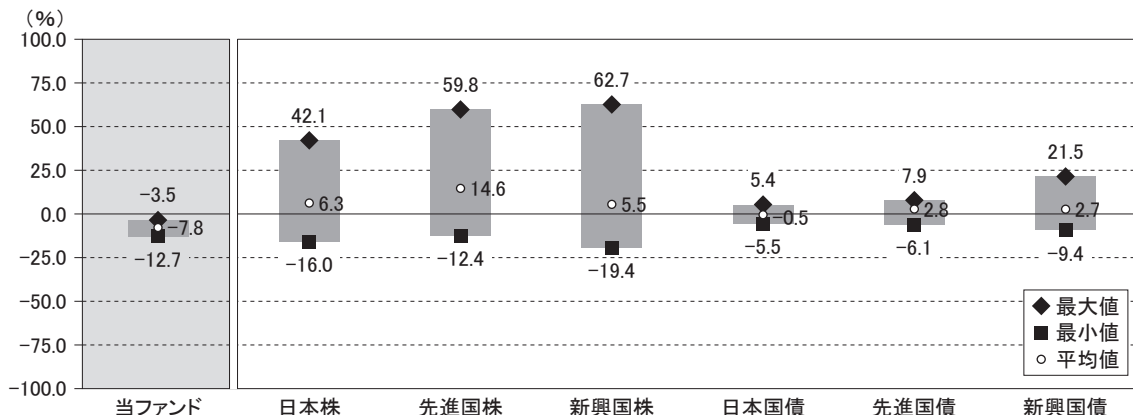
該当事項はありません。

4. 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	原則として無期限(2020年12月15日設定)
運用方針	投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
主要投資対象	主として、「フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・グローバル・アグリゲート・ボンド・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)」および「フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」に投資を行いません。なお、短期金融商品に直接投資を行なう場合があります。
運用方法	<ul style="list-style-type: none">●主として、投資信託証券に投資を行いません。●投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界の債券等(ハイ・イールド債券、投資適格債券、エマージング・マーケット債券を含む)へ投資を行ない、収益の確保と投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
分配方針	毎決算時(原則8月30日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行いません。 <ul style="list-style-type: none">●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行なうものではありません。●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いません。

5. 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 当ファンドは2020年12月15日に設定されたため2021年12月～2023年7月の期間、他の代表的な資産クラスについては2018年8月～2023年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示しております。当グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、指数提供元にて円換算しています。

* 詳細は後述の「指数に関して」をご参照下さい。

6. 当ファンドのデータ

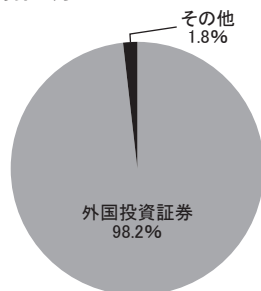
①組入資産の内容

組入上位ファンド

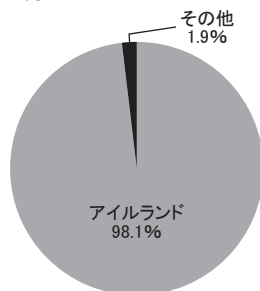
(2023年8月30日現在)

ファンド名	組入比率
フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡー フィデリティ・グローバル・アグリゲート・ボンド・ファンド	98.1%
フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド	0.1
組入ファンド数	2ファンド

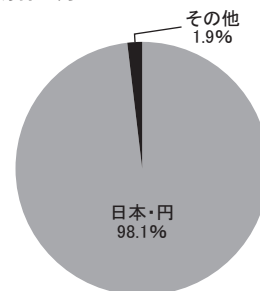
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注3) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

②純資産等

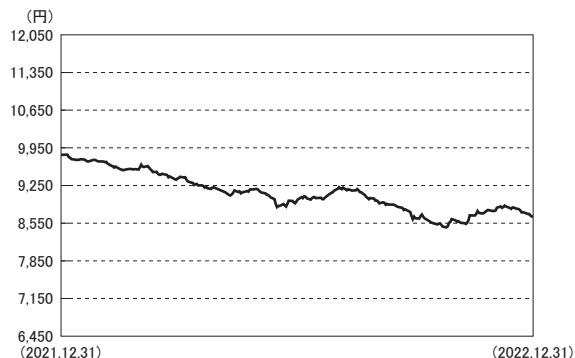
項目	当期末	
	2023年8月30日	
純資産総額	768,007,711円	
受益権総口数	924,434,120口	
1万口当たり基準価額	8,308円	

(注) 当期中における追加設定元本額は720,787,828円、同解約元本額は512,900,286円です。

③組入上位ファンドの概要

フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドI-フィデリティ・グローバル・アグリゲート・ボンド・ファンド (別途記載がない限り2022年12月31日現在)

基準価額の推移



※グラフは、1口当たり純資産価格の推移を示しています。

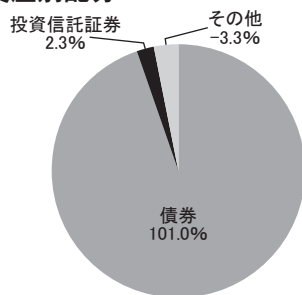
組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	UNITED KINGDOM GILT /GBP/ REGD REG S	4.8%
2	RC R/P BARCL 3.30% 1/03/23/GBP	3.7
3	FNMA 30YR TBA 4.5% FEB 23 TO BE ANNOUNCED	2.6
4	FNMA TBA 30YR TBA 3% FEB 23 TO BE ANNOUNCED	2.5
5	PIMCO STERLING SHORT MATURITY UCITS ETF /GBP/	2.3
6	JAPAN TREASURY DISC BILL /JPY/ REGD ZCP SER 1111	2.0
7	JAPAN TREASURY DISC BILL /JPY/ REGD ZCP SER 1122	1.7
8	JAPAN TREASURY DISC BILL /JPY/ REGD ZCP SER 1116	1.7
9	SINGAPORE GOVERNMENT /SGD/ REGD	1.6
10	FNCL 30YR TBA 4.0% FEB 23 TO BE ANNOUNCED	1.5
組入銘柄数		443銘柄

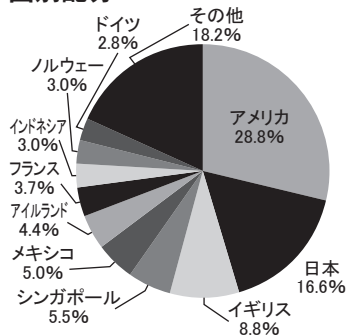
1万口当たりの費用明細

当ファンドの1万口当たりの費用は算出されていないため開示できません。

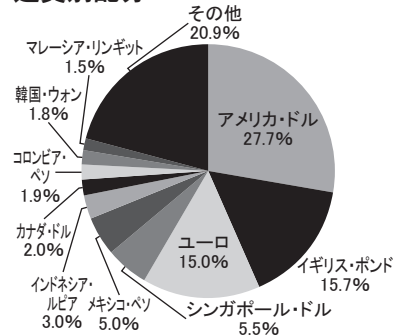
資産別配分



国別配分



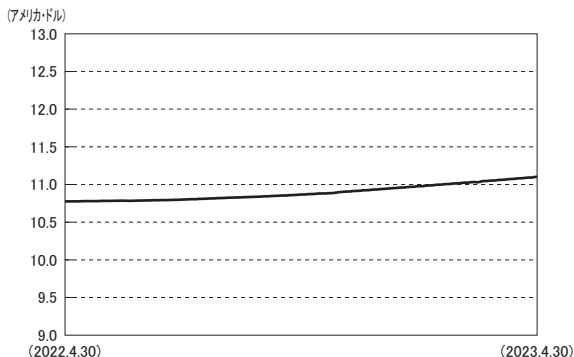
通貨別配分



(注) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

* Fidelity Internationalの資料に基づき作成しております。

フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド 基準価額の推移



※グラフは、1口当たり純資産価格の推移を示しています。

(別途記載がない限り2023年4月30日現在)

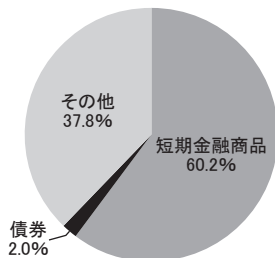
組入上位10銘柄

	銘柄名	国・地域	比率
1	Austria CP 4.85% 03/05/2023	オーストリア	3.5%
2	Sweden CP 4.88% 03/05/2023	スウェーデン	2.9
3	Mitsu Finance CP 4.98% 17/05/2023	イギリス	2.3
4	NAB VCD 0.44% 15/05/2023	オーストラリア	2.3
5	SG Issuer -0.80% 07/03/2024	ルクセンブルグ	2.0
6	Landeskreditbank CP 4.84% 03/05/2023	ドイツ	1.7
7	Royal Bank of Canada CD 0.46% 04/05/2023	カナダ	1.7
8	Mizuho London CD 5.50% 05/07/2023	イギリス	1.7
9	Cooperatieve CD 0.48% 17/05/2023	オランダ	1.2
10	Barclays CD 10.03% 02/05/2023	イギリス	1.2
組入銘柄数		59銘柄	

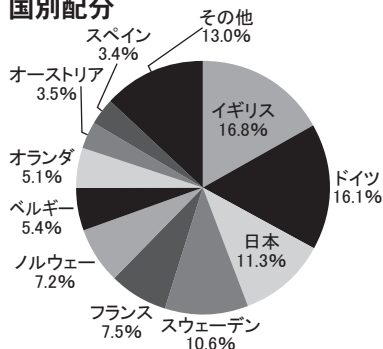
1万口当たりの費用明細

当ファンドの1万口当たりの費用は算出されていないため開示できません。

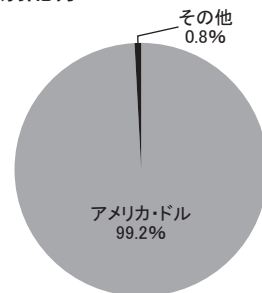
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

(注3) 国・地域及び国別配分は、発行国・地域を表示しています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

指数に関して

●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載の指数について

日本株	TOPIX(配当込)	東証株価指数(TOPIX)(以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、エマージング諸国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
日本国債	NOMURA-BPI 国債	NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びNOMURA-BPI 国債に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)	この情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J. P. モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。このインデックスは使用許諾を得て使用しています。 J. P. モルガンによる書面による事前の承諾なくこのインデックスを複写、使用、頒布することは禁じられています。 Copyright © 2022 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複写・転載を禁じます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

さて、「フィデリティ・世界ハイ・イールド債券・ファンド（ファンドラップ専用）」は、第3期の決算を行ないました。当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界のハイ・イールド債券等へ投資を行ない、収益の確保と投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

<お問合せ先>

フィデリティ投信株式会社
カスタマー・コミュニケーション部
東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 **0120-00-8051** (無料)

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページから下記の手順で閲覧、ダウンロードできます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報」より「基準価額一覧」を選択⇒当ファンドの「運用レポート目録見書等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

フィデリティ・世界ハイ・イールド債券・ファンド (ファンドラップ専用)

追加型投信／内外／債券

交付運用報告書

第3期(決算日 2023年8月30日)
作成対象期間(2022年8月31日～2023年8月30日)

日経新聞掲載名：フハイ債FW

第3期末
(決算日 2023年8月30日)

基準価額	8,365円
純資産総額	437百万円
第3期 (2022年8月31日～2023年8月30日)	
騰落率	△0.2%
分配金合計	0円

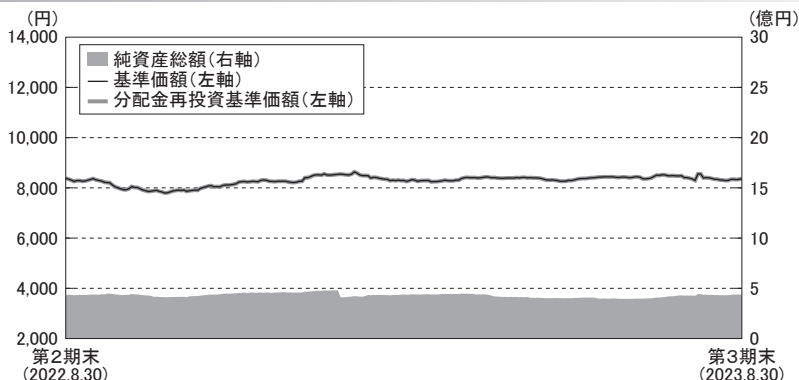
(注)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

フィデリティ投信株式会社



1. 運用経過の説明

① 基準価額等の推移



第3期首: 8,379円

第3期末: 8,365円 (既払分配金0円)

騰落率: -0.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、2022年8月30日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

② 基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの騰落率は、-0.2%でした。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界のハイ・イールド債券等へ投資を行います。

<プラス要因>

- ・ ブラジル、ポーランド、ドイツ、ベルギーなどのハイ・イールド債券がプラスに寄与したこと
- ・ 信用格付けB格のハイ・イールド債券がプラスに寄与したこと

<マイナス要因>

- ・ 米国、南アフリカなどのハイ・イールド債券がマイナスに寄与したこと
- ・ 金融や公益事業セクターのハイ・イールド債券がマイナスに寄与したこと
- ・ 年限5-10年のハイ・イールド債券がマイナスに寄与したこと

③ 1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	2022年8月31日～2023年8月30日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	34円	0.407%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は8,292円です。
(投信会社)	(14)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(18)	(0.220)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	8	0.098	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(0)	(0.004)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
(監査費用)	(1)	(0.018)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
(その他)	(6)	(0.076)	その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	42	0.505	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

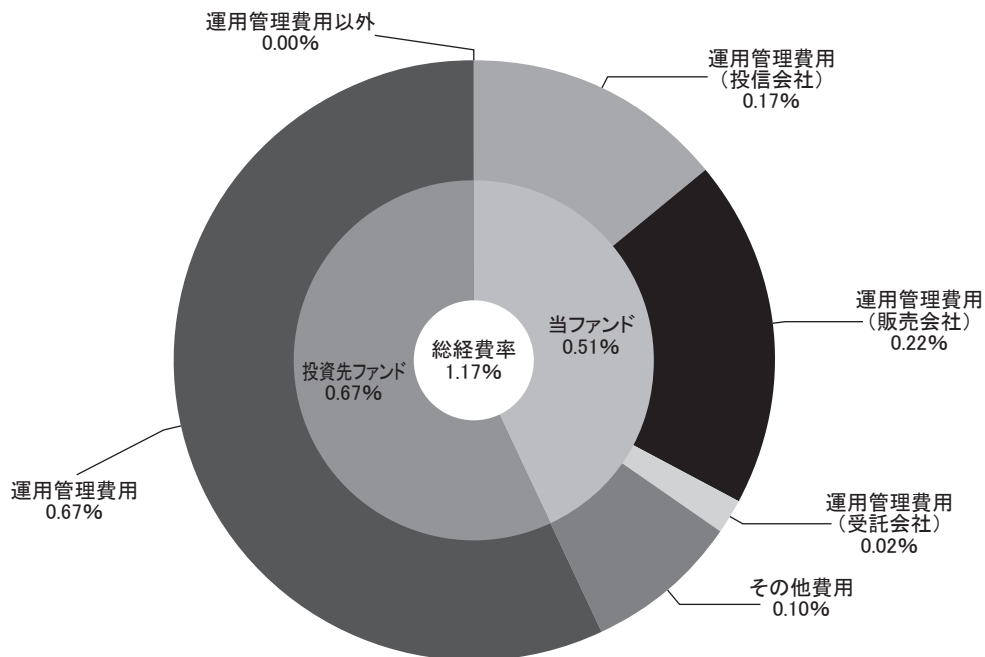
(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.17%です。



総経費率(①+②+③)	1.17%
①当ファンドの費用の比率	0.51%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.67%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4)各比率は、年率換算した値です。

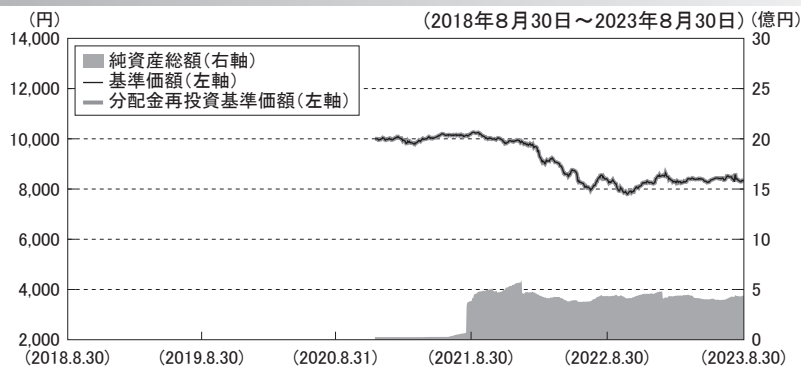
(注5)投資先ファンドとは、当ファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注6)①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7)①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

④最近5年間の基準価額等の推移



	2020年12月15日 設定日	2021年8月30日 決算日	2022年8月30日 決算日	2023年8月30日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,203	8,379	8,365
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.0	△17.9	△0.2
純資産総額 (百万円)	26	385	433	437

(注1) 分配金再投資基準価額は、当ファンドの設定日(2020年12月15日)を起点として計算しています。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑤投資環境

世界のハイ・イールド債券市場は引き続きボラティリティの高い展開でしたが、クレジット・スプレッドの縮小に伴い、プラスのリターンとなりました。市場は、インフレ率の上昇、世界各国の中央銀行による前例のない利上げ、そしてそれに続く世界的な景気減速の影響を受ける形となりました。市場は2022年末から2023年初にかけて回復基調となりましたが、3月の米地方銀行破綻に伴う銀行セクターの混乱と5月の米国債務上限問題をめぐる懸念の高まりの中で、投資家心理は冷え込む形となりました。しかしその後、欧米の中央銀行が金融システムの健全性確保に向けて迅速な対応をとった他、米国の債務問題に関しては債務上限を一時的に停止する法案が米議会で可決し、債務不履行が回避されたことなどから、市場は落ち着きを取り戻しました。さらに、インフレ率の鈍化や労働市場の過熱感に沈静化の兆しが見られたことなどにより、投資家心理は上向きました。このような流れの中、米連邦準備制度理事会(FRB)は6月に2022年3月以来の金利据え置きを決定しました。しかしFRBは、この「休止」は利上げサイクルのピークに達したことを意味するものではなく、これは、利上げペースを緩やかなものにしつつ、今後発表される経済指標と、これまでの利上げの効果を分析するための追加的な時間をもたらすものである、との見方を明らかにしました。8月には米国債の格下げなどを背景にリスクオフの動きが広がり、各国中央銀行の利上げ姿勢が継続するのではないかという懸念が広がりました。その一方で、不振にあえぐ中国の不動産市場に新たなストレスが生じたことや、欧州と中国の経済指標が一段と低調となったことなどを背景に、目先の景気見通しに対する懸念が高まる形となりました。米国債利回りは、米国債の大量発行と金利について「より高く、より長く」を解消する道筋はまだ遠いとの見方から、4%割れから16年ぶりの高水準となる4.35%まで上昇し、8月は4.11%で終えました。

⑥ポートフォリオ

当ファンドは、主として以下の投資信託証券(投資対象ファンド)に投資を行います。なお、短期金融商品に直接投資を行う場合があります。

- ・フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・グローバル・サブIG・フィクスト・インカム・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)
- ・フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界のハイ・イールド債券等へ投資を行い、投資信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。当期につきましても、そのように運用を行いました。

⑦ベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑧分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第3期
	2022年8月31日～2023年8月30日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	-%
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	70

- * 「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- * 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- * 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

2. 今後の運用方針

当ファンドにつきましては、「フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・グローバル・サブIG・フィクスト・インカム・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)」、「フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」の投資信託証券への投資を通じて、実質的な運用を当該ファンドにおいて行います。今後も、弊社のグローバルなリサーチ能力を活用し、質が高く、持続的かつ合理的で予測可能なリターンの実現に向けて、世界中のあらゆる情報を組み合わせ、最高の投資アイデアと投資機会を追求していく方針です。

3. お知らせ

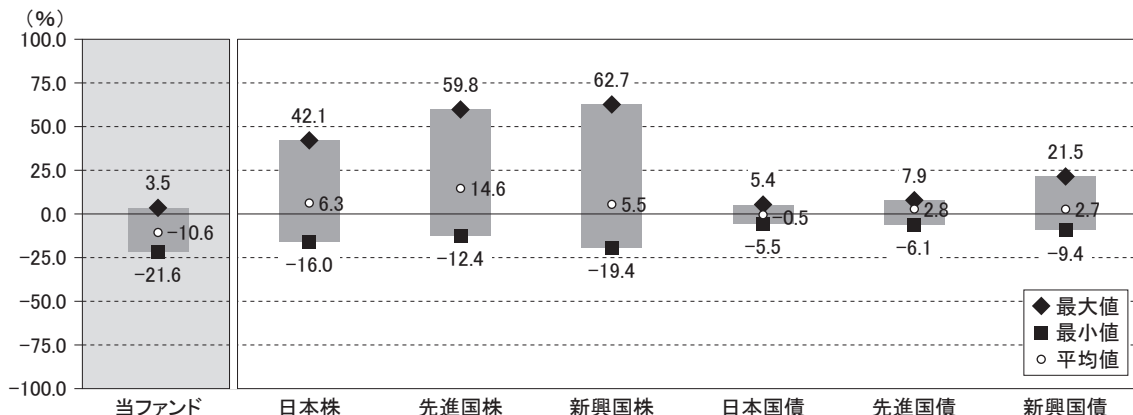
該当事項はありません。

4. 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	原則として無期限(2020年12月15日設定)
運用方針	投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
主要投資対象	主として、「フィデリティ・コモン・コントラクト・ファンドⅡーフィデリティ・グローバル・サブIG・フィクスト・インカム・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)」および「フィデリティ・ファンズーUSDドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」に投資を行いません。なお、短期金融商品に直接投資を行なう場合があります。
運用方法	<ul style="list-style-type: none">●主として、投資信託証券に投資を行いません。●投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界のハイ・イールド債券等へ投資を行ない、収益の確保と投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
分配方針	毎決算時(原則8月30日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行いません。 <ul style="list-style-type: none">●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行なうものではありません。●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いません。

5. 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 当ファンドは2020年12月15日に設定されたため2021年12月～2023年7月の期間、他の代表的な資産クラスについては2018年8月～2023年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示しております。当グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、指数提供元にて円換算しています。

* 詳細は後述の「指数に関して」をご参照下さい。

6. 当ファンドのデータ

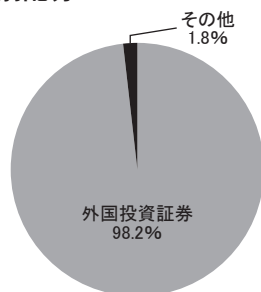
①組入資産の内容

組入上位ファンド

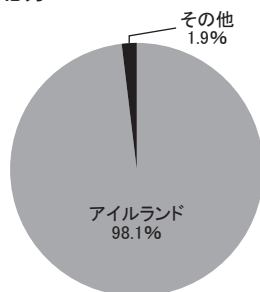
(2023年8月30日現在)

ファンド名	組入比率
フィデリティ・モン・コントラクトリアル・ファンドIIー フィデリティ・グローバル・サブG・フィクスト・インカム・ファンド	98.1%
フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド	0.1
組入ファンド数	2ファンド

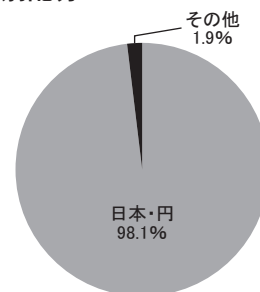
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注3) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

②純資産等

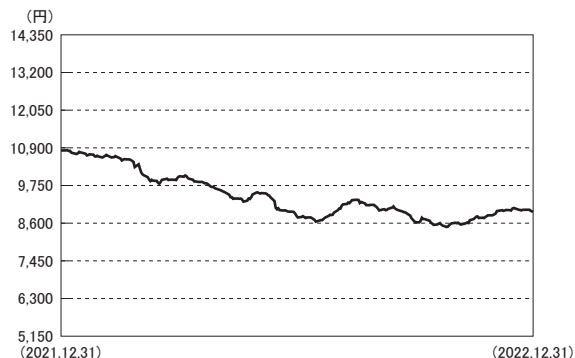
項目	当期末	
	2023年8月30日	
純資産総額		437,573,256円
受益権総口数		523,090,918口
1万口当たり基準価額		8,365円

(注) 当期中における追加設定元本額は304,191,992円、同解約元本額は298,728,772円です。

③組入上位ファンドの概要

フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドII-フィデリティ・グローバル・サブG・フィクスト・インカム・ファンド（別途記載がない限り2022年12月31日現在）

基準価額の推移



※グラフは、1口当たり純資産価格の推移を示しています。

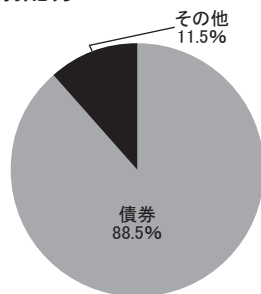
組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	NOTA DO TESOURO NACIONAL /BRL/ REGD SER NTN	3.4%
2	THAILAND GOVERNMENT BOND /THB/ REGD	1.6
3	MEX BONOS DESARR FIX RT /MXN/ REGD SER M	1.6
4	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA /ZAR/ REGD SER R213	1.5
5	INDONESIA GOVERNMENT /IDR/ REGD SER FR83	1.2
6	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA /ZAR/ REGD SER 2048	1.2
7	CZECH REPUBLIC /CZK/ REGD SER 138	1.2
8	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA /ZAR/ REGD SER 2030	1.1
9	TITULOS DE TESORERIA /COP/ REGD SER B	1.1
10	GLOBAL AIR LEASE CO LTD REGD 144A P/P	1.0
組入銘柄数		493銘柄

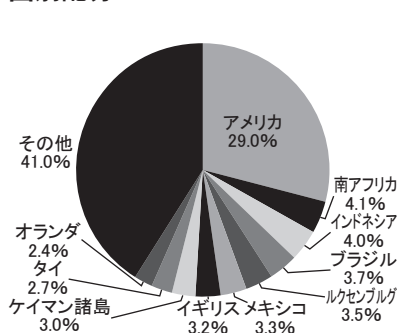
1万口当たりの費用明細

当ファンドの1万口当たりの費用は算出されていないため開示できません。

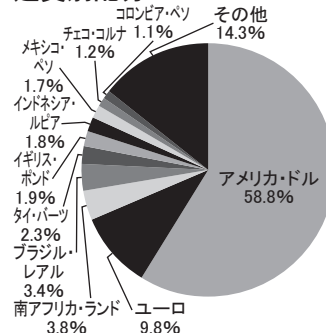
資産別配分



国別配分



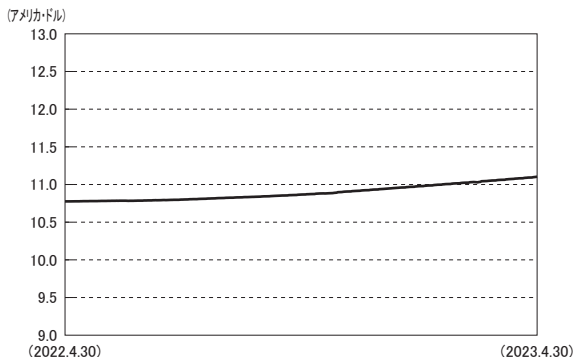
通貨別配分



(注) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

* Fidelity Internationalの資料に基づき作成しております。

フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド 基準価額の推移



※グラフは、1口当たり純資産価格の推移を示しています。

(別途記載がない限り2023年4月30日現在)

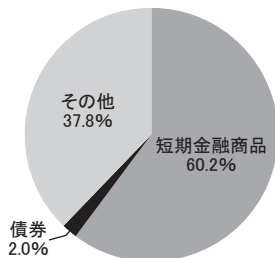
組入上位10銘柄

	銘柄名	国・地域	比率
1	Austria CP 4.85% 03/05/2023	オーストリア	3.5%
2	Sweden CP 4.88% 03/05/2023	スウェーデン	2.9
3	Mitsu Finance CP 4.98% 17/05/2023	イギリス	2.3
4	NAB VCD 0.44% 15/05/2023	オーストラリア	2.3
5	SG Issuer -0.80% 07/03/2024	ルクセンブルグ	2.0
6	Landeskreditbank CP 4.84% 03/05/2023	ドイツ	1.7
7	Royal Bank of Canada CD 0.46% 04/05/2023	カナダ	1.7
8	Mizuho London CD 5.50% 05/07/2023	イギリス	1.7
9	Cooperatieve CD 0.48% 17/05/2023	オランダ	1.2
10	Barclays CD 10.03% 02/05/2023	イギリス	1.2
組入銘柄数		59銘柄	

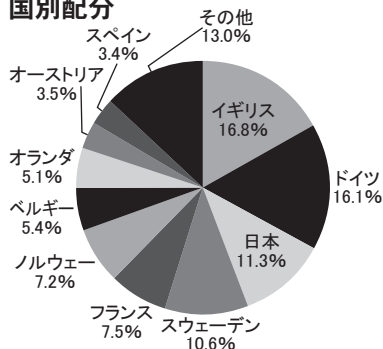
1万口当たりの費用明細

当ファンドの1万口当たりの費用は算出されていないため開示できません。

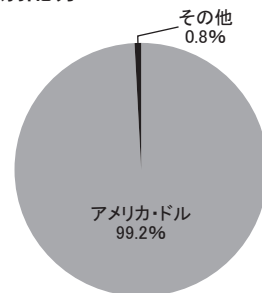
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

(注3) 国・地域及び国別配分は、発行国・地域を表示しています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

指数に関して

●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載の指数について

日本株	TOPIX(配当込)	東証株価指数(TOPIX)(以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、エマージング諸国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
日本国債	NOMURA-BPI 国債	NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びNOMURA-BPI 国債に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)	この情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J. P. モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。このインデックスは使用許諾を得て使用しています。 J. P. モルガンによる書面による事前の承諾なくこのインデックスを複写、使用、頒布することは禁じられています。 Copyright © 2022 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複写・転載を禁じます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

さて、「フィデリティ・アジア・パシフィック株式・ファンド(ファンドラップ専用)」は、第3期の決算を行ないました。当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的にアジア、オセアニア(除く日本)の株式等へ投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

<お問合せ先>

フィデリティ投信株式会社
カスタマー・コミュニケーション部
東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 **0120-00-8051** (無料)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページから下記の手順で閲覧、ダウンロードできます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報」より「基準価額一覧」を選択⇒当ファンドの「運用レポート目録見書等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

フィデリティ・アジア・パシフィック株式・ファンド (ファンドラップ専用)

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第3期(決算日 2023年8月30日)
作成対象期間(2022年8月31日～2023年8月30日)

日経新聞掲載名: ファジ株FW

第3期末
(決算日 2023年8月30日)

基準価額	8,507円
純資産総額	22百万円
第3期 (2022年8月31日～2023年8月30日)	
騰落率	△3.4%
分配金合計	0円

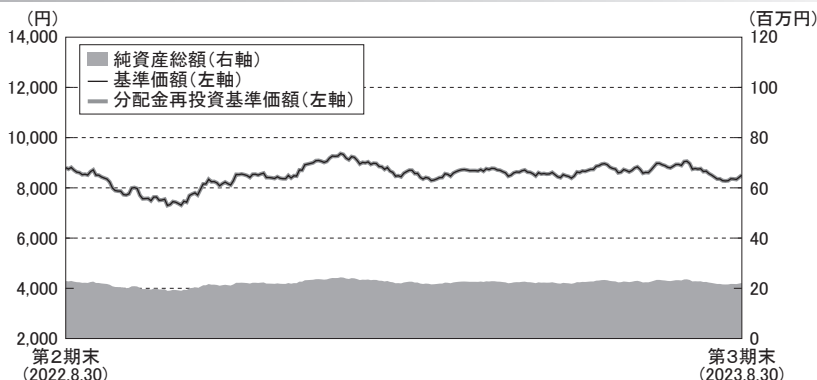
(注)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

フィデリティ投信株式会社



1. 運用経過の説明

① 基準価額等の推移



第3期首: 8,804円

第3期末: 8,507円 (既払分配金0円)

騰落率: -3.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、2022年8月30日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

② 基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの騰落率は、-3.4%でした。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的にアジア、オセアニア (除く日本) の株式等へ投資を行います。

<プラス要因>

- ・ 情報技術や金融などの業種が好調に推移したこと
- ・ 韓国株が上昇したこと
- ・ 韓国のSamsung ElectronicsやオーストラリアのNewcrest Miningなどの銘柄がプラスに寄与したこと

<マイナス要因>

- ・ 一般消費財・サービス、生活必需品といった業種が低迷したこと
- ・ 中国株が下落したこと
- ・ 中国のJD.comやAlibaba Groupなどの銘柄がマイナスに寄与したこと

③ 1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	2022年8月31日～2023年8月30日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	35円	0.407%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は8,513円です。
(投信会社)	(14)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(19)	(0.220)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	11	0.128	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(2)	(0.028)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
(監査費用)	(4)	(0.047)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
(その他)	(4)	(0.052)	その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	46	0.535	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

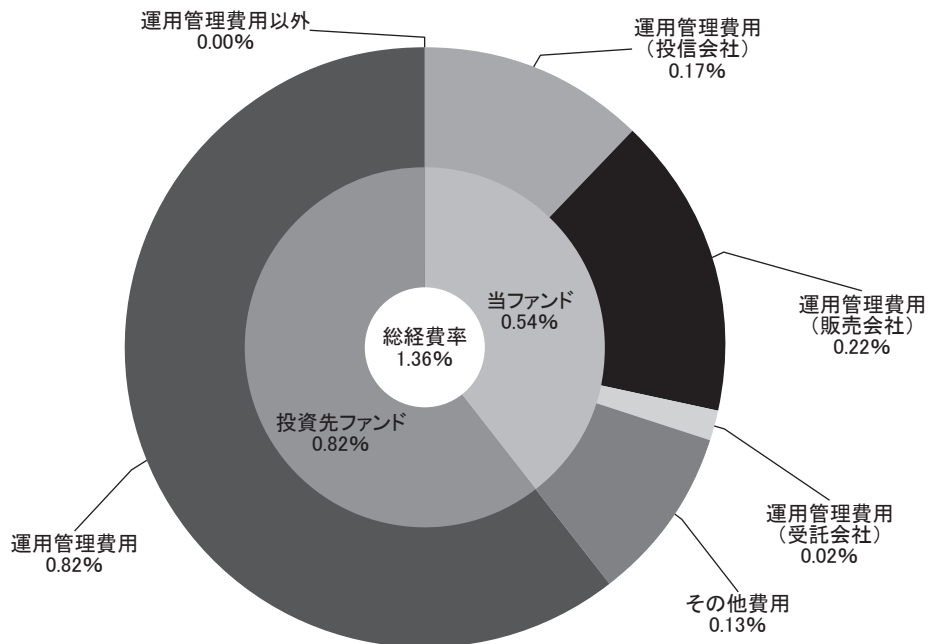
(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.36%です。



総経費率(①+②+③)	1.36%
①当ファンドの費用の比率	0.54%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.82%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4)各比率は、年率換算した値です。

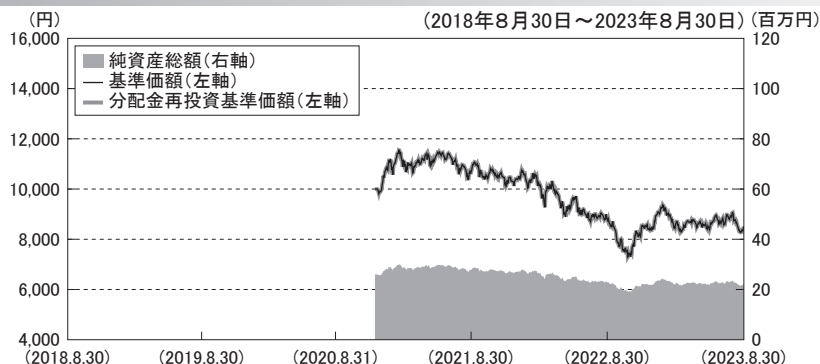
(注5)投資先ファンドとは、当ファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注6)①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7)①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

④最近5年間の基準価額等の推移



	2020年12月15日 設定日	2021年8月30日 決算日	2022年8月30日 決算日	2023年8月30日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,688	8,804	8,507
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	6.9	△17.6	△3.4
純資産総額 (百万円)	26	27	22	22

(注1) 分配金再投資基準価額は、当ファンドの設定日(2020年12月15日)を起点として計算しています。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑤投資環境

当期のアジア太平洋地域(日本を除く)の株式市場は、上昇して期を終えたものの変動の大きい展開となりました。中国における新型コロナウイルスに伴う行動制限の緩和が見られる中、中国経済再開への期待感から上昇して当期はスタートしました。しかし、その後、米中間の地政学的緊張の高まりなどを背景に利益確定の売りが見られる展開となりました。また、中国における消費の伸びが予想を下回る中、内需関連株に対して売りが入る流れとなりました。さらに、物価上昇圧力の高まりに対する米連邦準備制度理事会(FRB)の継続的な利上げにより、アジア太平洋地域の通貨が下落したことや2023年3月の米地方銀行破綻に端を發した金融セクターの混乱、世界経済の減速傾向、といった材料も市場の変動要因となりました。このような状況の下、中国及び香港の株式市場は軟調さが目立ちました。一方、韓国や台湾の情報技術関連銘柄は、半導体関連や人工知能(AI)などの新たな領域に関連した銘柄に下支えされ、上昇しました。また、インドの株式市場は、海外機関投資家からの資金流入により上昇し、インドネシアの株式市場は、規模は大きくないものの投資機会を求め海外からの資金流入が見られたことなどを背景に上昇しました。業種別では、情報技術と素材が上昇をけん引する形となりました。

⑥ポートフォリオ

当ファンドは、主として以下の投資信託証券(投資対象ファンド)に投資を行います。なお、短期金融商品に直接投資を行う場合があります。

- ・フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・アジア・パシフィック(除く日本)・エクイティ・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)
- ・フィデリティ・ファンズーUSDル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的にアジア、オセアニア(除く日本)の株式等へ投資を行い、投資信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。当期につきましても、そのように運用を行いました。

⑦ベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑧分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第3期
	2022年8月31日～2023年8月30日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	687

- * 「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- * 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- * 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

2. 今後の運用方針

当ファンドにつきましては、「フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・アジア・パシフィック(除く日本)・エクイティ・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)」、「フィデリティ・ファンズーUSDル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」の投資信託証券への投資を通じて、実質的な運用を当該ファンドにおいて行います。今後も、弊社のグローバルなリサーチ能力を活用し、質が高く、持続的かつ合理的で予測可能なリターンの実現に向けて、世界中のあらゆる情報を組み合わせ、最高の投資アイデアと投資機会を追求していく方針です。

3. お知らせ

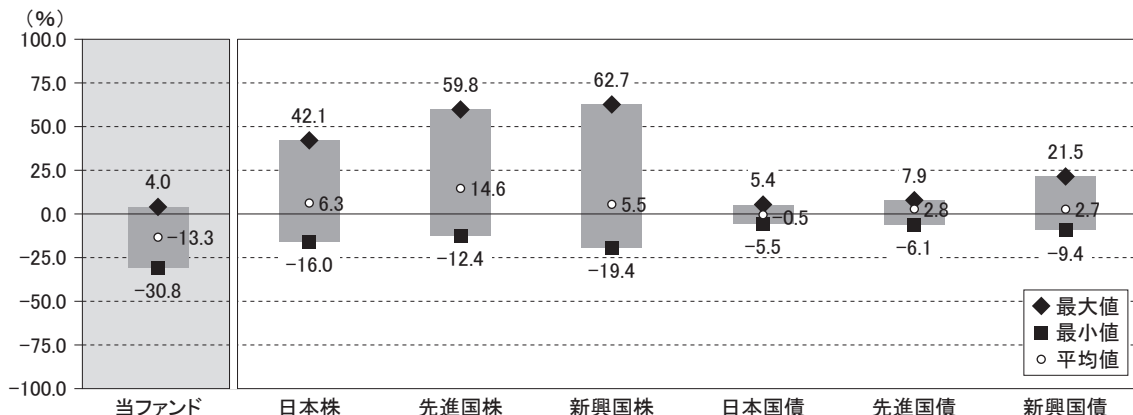
該当事項はありません。

4. 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	原則として無期限(2020年12月15日設定)
運用方針	投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
主要投資対象	主として、「フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・アジア・パシフィック(除く日本)・エクイティ・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)」および「フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」に投資を行ないます。なお、短期金融商品に直接投資を行なう場合があります。
運用方法	<ul style="list-style-type: none">●主として、投資信託証券に投資を行ないます。●投資信託証券への投資を通じて、実質的にアジア、オセアニア(除く日本)の株式等へ投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
分配方針	毎決算時(原則8月30日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行ないます。 <ul style="list-style-type: none">●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行なうものではありません。●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行ないます。

5. 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 当ファンドは2020年12月15日に設定されたため2021年12月～2023年7月の期間、他の代表的な資産クラスについては2018年8月～2023年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示しております。当グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、指数提供元にて円換算しています。

* 詳細は後述の「指数に関して」をご参照下さい。

6. 当ファンドのデータ

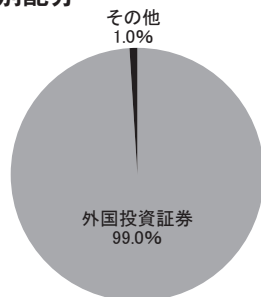
①組入資産の内容

組入上位ファンド

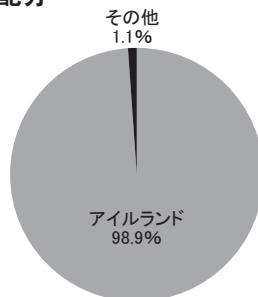
(2023年8月30日現在)

ファンド名	組入比率
フィデリティ・コモン・コントラクトリアル・ファンドⅡー フィデリティ・アジア・パシフィック(除く日本)・エクイティ・ファンド	98.9%
フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド	0.1
組入ファンド数	2ファンド

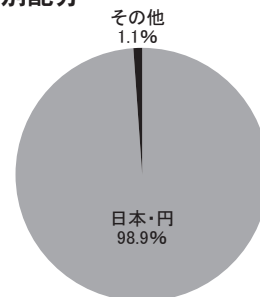
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注3) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

②純資産等

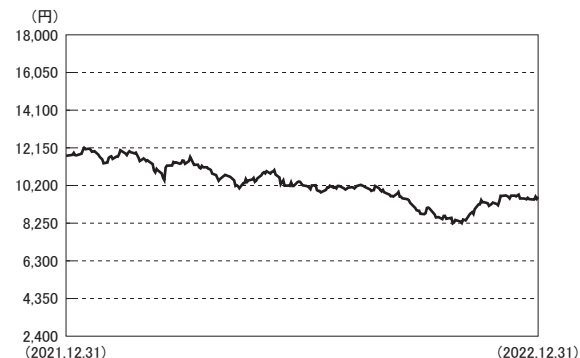
項目	当期末	
	2023年8月30日	
純資産総額		22,129,922円
受益権総口数		26,013,183口
1万口当たり基準価額		8,507円

(注) 当期中における追加設定元本額は9,649円、同解約元本額は13,390円です。

③組入上位ファンドの概要

フィデリティ・コモン・コントラクトリアル・ファンドーフィデリティ・アジア・パシフィック(除く日本)・エクイティ・ファンド (別途記載がない限り2022年12月31日現在)

基準価額の推移



※グラフは、1口当たり純資産価格の推移を示しています。

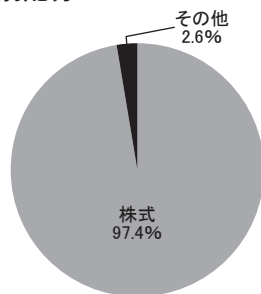
組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC /TWD/	4.5%
2	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD /KRW/	4.3
3	TENCENT HOLDINGS LTD /HKD/	3.1
4	ALIBABA GROUP HOLDING LTD /HKD/	2.3
5	AIA GROUP LTD /HKD/	2.3
6	JD.COM INC - CL A /HKD/	1.9
7	NEWCREST MINING LTD /AUD/	1.6
8	KB FINANCIAL GROUP INC /KRW/	1.4
9	MEITUAN-CLASS B /HKD/ 144A	1.4
10	ASE TECHNOLOGY HOLDING CO LT /TWD/	1.1
組入銘柄数		555銘柄

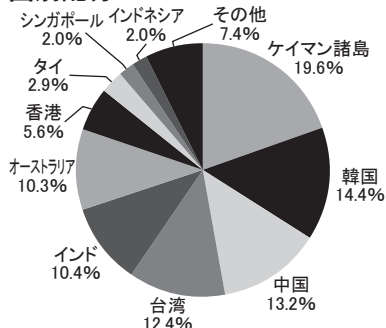
1万口当たりの費用明細

当ファンドの1万口当たりの費用は算出されていないため開示できません。

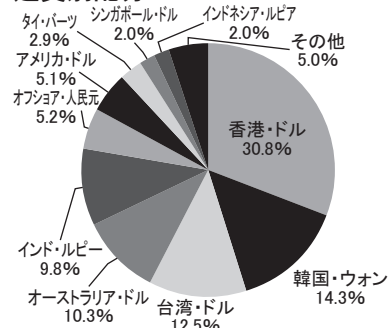
資産別配分



国別配分



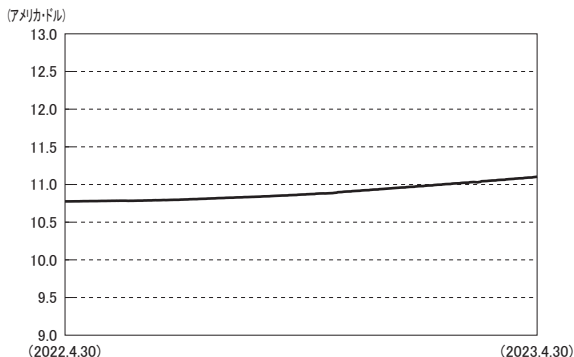
通貨別配分



(注)各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

* Fidelity Internationalの資料に基づき作成しております。

フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド 基準価額の推移



※グラフは、1口当たり純資産価格の推移を示しています。

(別途記載がない限り2023年4月30日現在)

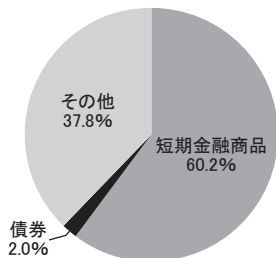
組入上位10銘柄

	銘柄名	国・地域	比率
1	Austria CP 4.85% 03/05/2023	オーストリア	3.5%
2	Sweden CP 4.88% 03/05/2023	スウェーデン	2.9
3	Mitsu Finance CP 4.98% 17/05/2023	イギリス	2.3
4	NAB VCD 0.44% 15/05/2023	オーストラリア	2.3
5	SG Issuer -0.80% 07/03/2024	ルクセンブルグ	2.0
6	Landeskreditbank CP 4.84% 03/05/2023	ドイツ	1.7
7	Royal Bank of Canada CD 0.46% 04/05/2023	カナダ	1.7
8	Mizuho London CD 5.50% 05/07/2023	イギリス	1.7
9	Cooperatieve CD 0.48% 17/05/2023	オランダ	1.2
10	Barclays CD 10.03% 02/05/2023	イギリス	1.2
組入銘柄数		59銘柄	

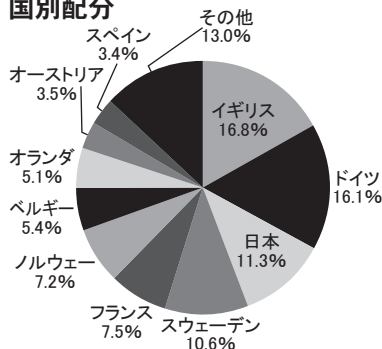
1万口当たりの費用明細

当ファンドの1万口当たりの費用は算出されていないため開示できません。

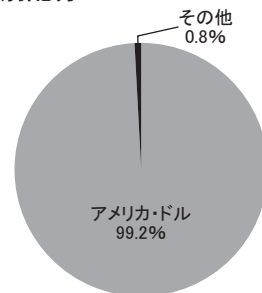
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

(注3) 国・地域及び国別配分は、発行国・地域を表示しています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

指数に関して

●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載の指数について

日本株	TOPIX(配当込)	東証株価指数(TOPIX)(以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、エマージング諸国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
日本国債	NOMURA-BPI 国債	NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びNOMURA-BPI 国債に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)	この情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J. P. モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。このインデックスは使用許諾を得て使用しています。 J. P. モルガンによる書面による事前の承諾なくこのインデックスを複写、使用、頒布することは禁じられています。 Copyright © 2022 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複写・転載を禁じます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

さて、「フィデリティ・オルタナティブ株式・ファンド(ファンドラップ専用)」は、第3期の決算を行ないました。当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界のコモディティ(商品)関連などのオルタナティブ株式(上場)等へ投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

<お問合せ先>

フィデリティ投信株式会社
カスタマー・コミュニケーション部
東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 **0120-00-8051** (無料)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページから下記の手順で閲覧、ダウンロードできます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報」より「基準価額一覧」を選択⇒当ファンドの「運用レポート目録見書等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

フィデリティ・オルタナティブ株式・ファンド (ファンドラップ専用)

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第3期(決算日 2023年8月30日)
作成対象期間(2022年8月31日～2023年8月30日)

日経新聞掲載名: フォル株FW

第3期末
(決算日 2023年8月30日)

基準価額	8,822円
純資産総額	279百万円
第3期 (2022年8月31日～2023年8月30日)	
騰落率	△15.8%
分配金合計	0円

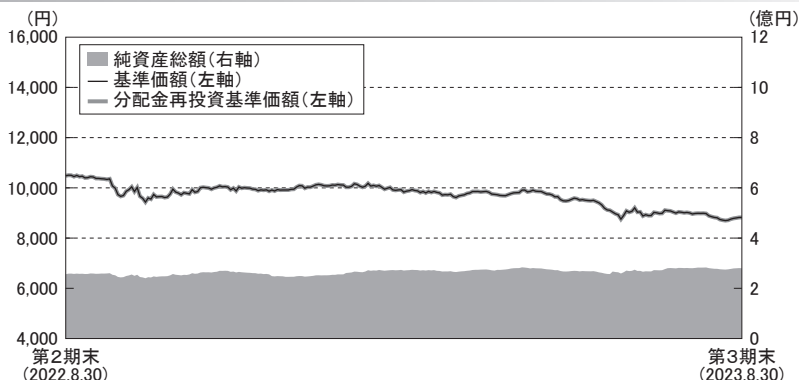
(注)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

フィデリティ投信株式会社



1. 運用経過の説明

① 基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、2022年8月30日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

② 基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの騰落率は、-15.8%でした。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界のコモディティ(商品)関連などのオルタナティブ株式(上場)等へ投資を行います。

＜プラス要因＞

- ・ Doric Nimrod Air Two、Doric Nimrod Air Threeなどがプラスに寄与したこと

＜マイナス要因＞

- ・ 金融や公益事業などの業種がマイナスに寄与したこと
- ・ Round Hill Music Royalty FundやGreencoat Renewables、HICL Infrastructureなどがマイナスに寄与したこと

③ 1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	2022年8月31日～2023年8月30日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	39円	0.407%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は9,703円です。
(投信会社)	(16)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(21)	(0.220)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	10	0.105	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(0)	(0.005)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
(監査費用)	(3)	(0.028)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
(その他)	(7)	(0.073)	その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	50	0.512	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

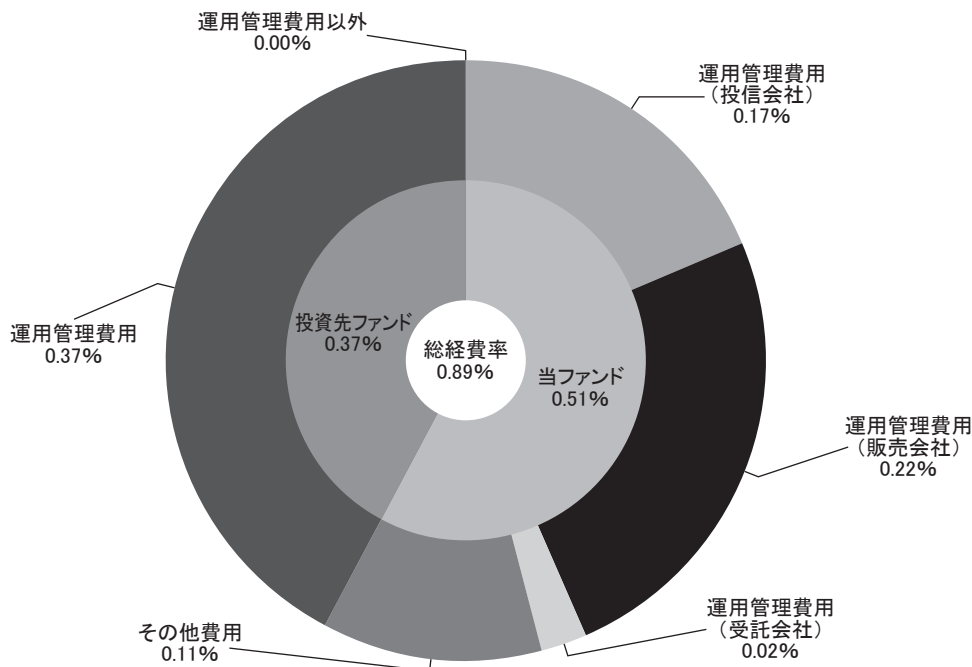
(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.89%です。



総経費率(①+②+③)	0.89%
①当ファンドの費用の比率	0.51%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.37%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4)各比率は、年率換算した値です。

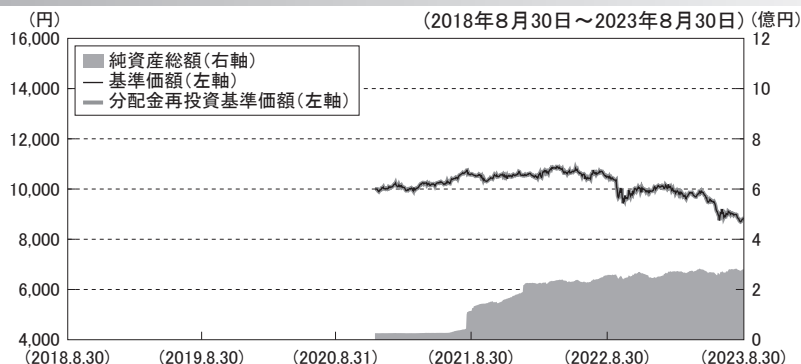
(注5)投資先ファンドとは、当ファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注6)①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7)①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

④最近5年間の基準価額等の推移



	2020年12月15日 設定日	2021年8月30日 決算日	2022年8月30日 決算日	2023年8月30日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,602	10,481	8,822
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	6.0	△1.1	△15.8
純資産総額 (百万円)	26	115	256	279

(注1) 分配金再投資基準価額は、当ファンドの設定日(2020年12月15日)を起点として計算しています。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑤投資環境

当期のコモディティ価格は、主にエネルギー価格の下落を背景に軟調な推移となりました。需要の端境期や暖冬に伴う需要減から、天然ガスの価格が下落しました。原油価格については、世界経済の減速懸念がエネルギー需要の見通しに水を差す形となり、石油輸出国機構（OPEC）と非加盟産油国でつくる「OPECプラス」による減産にもかかわらず、下落する形となりました。工業用金属は、米国、欧州、中国における製造業の生産活動が低下したことなどから下落する結果となりました。亜鉛、ニッケル、アルミニウムの価格は、需要は減退する中、供給の強化が見られたことなどから軟調な推移となりました。一方、銅と錫については、世界最大の消費国である中国が新型コロナウイルスに伴う行動制限の緩和を決定したことや不動産セクターの支援を打ち出したことなどから景気見通しに前向きな見方が広がり、同国における需要増への期待から価格は上昇しました。貴金属は、銀やプラチナの上昇が目立ちました。金については、米シリコンバレー銀行の破綻による影響への懸念から、資金が安全資産へと逃避する流れが見られ、上昇する場面が見られた一方、金利上昇が予想される中、債券など他の投資対象の利回りも魅力的となることから、保有の際の機会費用が嫌気される展開となり、上昇幅は限定的となりました。

⑥ポートフォリオ

当ファンドは、主として以下の投資信託証券（投資対象ファンド）に投資を行います。なお、短期金融商品に直接投資を行う場合があります。

- ・フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・オルタナティブ・リステッド・エクイティ・ファンド（アイルランド籍外国証券投資信託）
- ・フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド（ルクセンブルグ籍証券投資法人）

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界のコモディティ（商品）関連などのオルタナティブ株式（上場）等へ投資を行い、投資信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。当期につきましても、そのように運用を行いました。

⑦ベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑧分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第3期
	2022年8月31日～2023年8月30日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	105

- * 「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- * 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- * 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

2. 今後の運用方針

当ファンドにつきましては、「フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・オルタナティブ・リストッド・エクイティ・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)」、「フィデリティ・ファンズーUSDル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」の投資信託証券への投資を通じて、実質的な運用を当該ファンドにおいて行います。今後も、弊社のグローバルなリサーチ能力を活用し、質が高く、持続的かつ合理的で予測可能なリターンの実現に向けて、世界中のあらゆる情報を組み合わせ、最高の投資アイデアと投資機会を追求していく方針です。

3. お知らせ

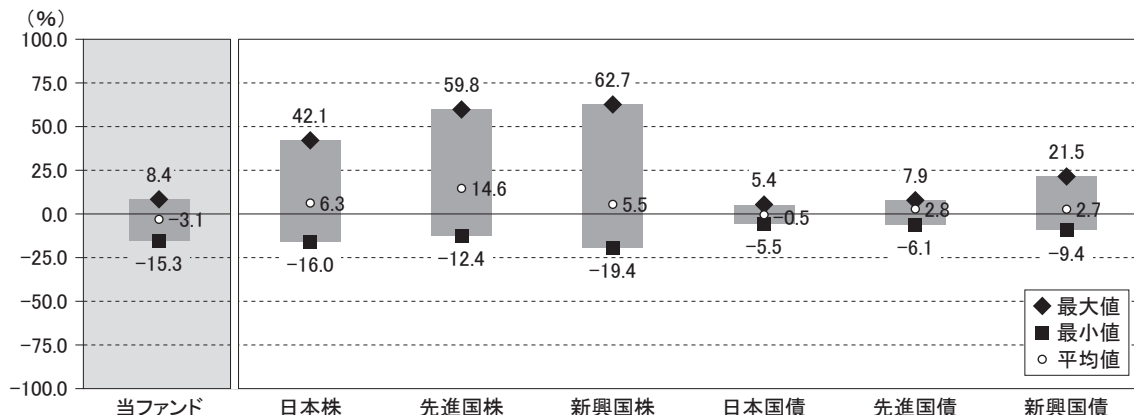
該当事項はありません。

4. 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	原則として無期限(2020年12月15日設定)
運用方針	投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
主要投資対象	主として、「フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・オルタナティブ・リステッド・エクイティ・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)」および「フィデリティ・ファンズーUSDドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」に投資を行ないます。なお、短期金融商品に直接投資を行なう場合があります。
運用方法	●主として、投資信託証券に投資を行ないます。 ●投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界のコモディティ(商品)関連などのオルタナティブ株式(上場)等へ投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
分配方針	毎決算時(原則8月30日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行ないます。 ●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行なうものではありません。 ●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行ないます。

5. 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 当ファンドは2020年12月15日に設定されたため2021年12月～2023年7月の期間、他の代表的な資産クラスについては2018年8月～2023年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示しております。当グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、指数提供元にて円換算しています。

* 詳細は後述の「指数に関して」をご参照下さい。

6. 当ファンドのデータ

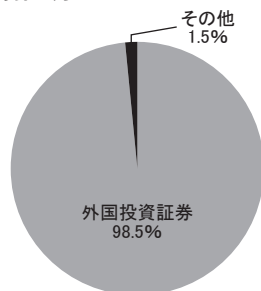
①組入資産の内容

組入上位ファンド

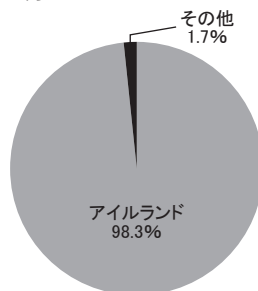
(2023年8月30日現在)

ファンド名	組入比率
フィデリティ・コモン・コントラクトリアル・ファンドIIー フィデリティ・オルタナティブ・リステッド・エクイティ・ファンド	98.3%
フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド	0.1
組入ファンド数	2ファンド

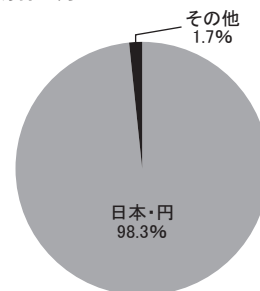
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注3) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

②純資産等

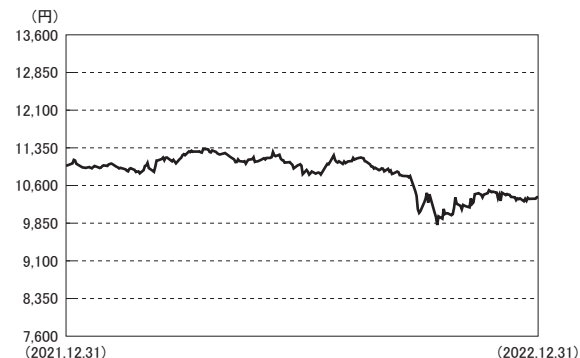
項目	当期末	
	2023年8月30日	
純資産総額		279,986,413円
受益権総口数		317,386,126口
1万口当たり基準価額		8,822円

(注) 当期中における追加設定元本額は149,771,692円、同解約元本額は76,853,722円です。

③組入上位ファンドの概要

フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドIIーフィデリティ・オルタナティブ・リステッド・エクイティ・ファンド（別途記載がない限り2022年12月31日現在）

基準価額の推移



※グラフは、1口当たり純資産価格の推移を示しています。

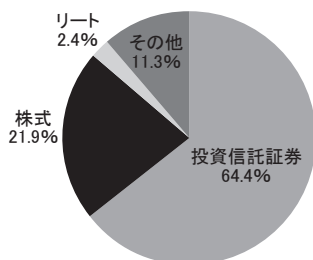
組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	HICL INFRASTRUCTURE PLC /GBP/	8.1%
2	INTERNATIONAL PUBLIC PARTNERSHIPS LTD /GBP/	8.1
3	GREENCOAT UK WIND PLC/FUNDS /GBP/	7.8
4	GCP INFRASTRUCTURE INVESTMENTS LTD /GBP/	7.0
5	GREENCOAT RENEWABLES PLC /EUR/	6.5
6	3I INFRASTRUCTURE PLC /GBP/	4.6
7	RENEWABLES INFRASTRUCTURE GROUP LTD/THE /GBP/	4.5
8	SEQUOIA ECONOMIC INFRASTRUCTURE INCOME FUND LTD /GBP/	4.5
9	BIOPHARMA CREDIT PLC/THE FUND REG S	3.4
10	ROUND HILL MUSIC ROYALTY FUND LTD/FUND	3.4
組入銘柄数		25銘柄

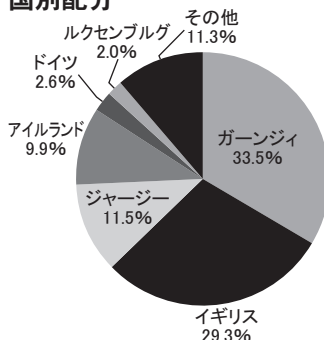
1万口当たりの費用明細

当ファンドの1万口当たりの費用は算出されていないため開示できません。

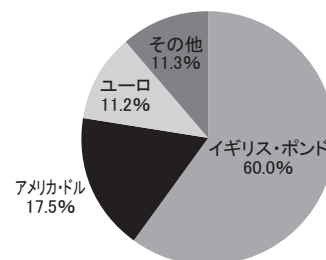
資産別配分



国別配分



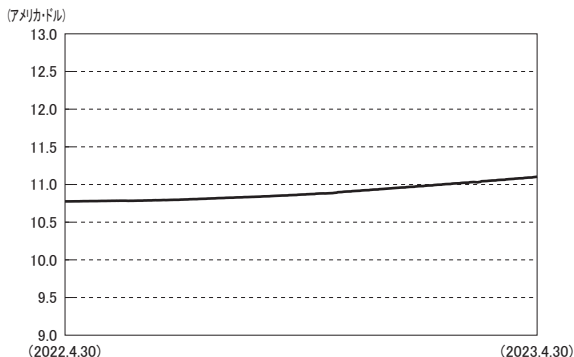
通貨別配分



(注)各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

* Fidelity Internationalの資料に基づき作成しております。

フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド 基準価額の推移



※グラフは、1口当たり純資産価格の推移を示しています。

(別途記載がない限り2023年4月30日現在)

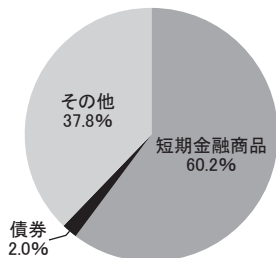
組入上位10銘柄

	銘柄名	国・地域	比率
1	Austria CP 4.85% 03/05/2023	オーストリア	3.5%
2	Sweden CP 4.88% 03/05/2023	スウェーデン	2.9
3	Mitsu Finance CP 4.98% 17/05/2023	イギリス	2.3
4	NAB VCD 0.44% 15/05/2023	オーストラリア	2.3
5	SG Issuer -0.80% 07/03/2024	ルクセンブルグ	2.0
6	Landeskreditbank CP 4.84% 03/05/2023	ドイツ	1.7
7	Royal Bank of Canada CD 0.46% 04/05/2023	カナダ	1.7
8	Mizuho London CD 5.50% 05/07/2023	イギリス	1.7
9	Cooperatieve CD 0.48% 17/05/2023	オランダ	1.2
10	Barclays CD 10.03% 02/05/2023	イギリス	1.2
組入銘柄数		59銘柄	

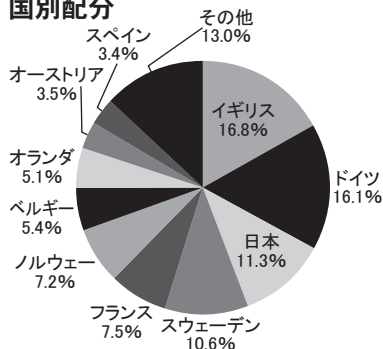
1万口当たりの費用明細

当ファンドの1万口当たりの費用は算出されていないため開示できません。

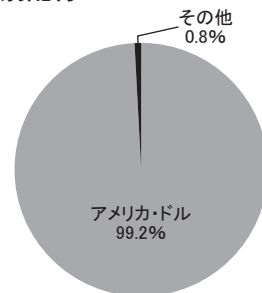
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

(注3) 国・地域及び国別配分は、発行国・地域を表示しています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

指数に関して

●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載の指数について

日本株	TOPIX(配当込)	東証株価指数(TOPIX)(以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、エマージング諸国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
日本国債	NOMURA-BPI 国債	NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びNOMURA-BPI 国債に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)	この情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J. P. モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。このインデックスは使用許諾を得て使用しています。 J. P. モルガンによる書面による事前の承諾なくこのインデックスを複写、使用、頒布することは禁じられています。 Copyright © 2022 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複写・転載を禁じます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

さて、「フィデリティ・世界新興国株式・ファンド(ファンドラップ専用)」は、第3期の決算を行ないました。当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界の新興国の株式等へ投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

〈お問合せ先〉

フィデリティ投信株式会社
カスタマー・コミュニケーション部
東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 **0120-00-8051** (無料)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページから下記の手順で閲覧、ダウンロードできます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報」より「基準価額一覧」を選択⇒当ファンドの「運用レポート目録見書等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

フィデリティ・世界新興国株式・ファンド (ファンドラップ専用)

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第3期(決算日 2023年8月30日)
作成対象期間(2022年8月31日～2023年8月30日)

日経新聞掲載名: フ新興株FW

第3期末
(決算日 2023年8月30日)

基準価額	8,998円
純資産総額	381百万円
第3期 (2022年8月31日～2023年8月30日)	
騰落率	1.4%
分配金合計	0円

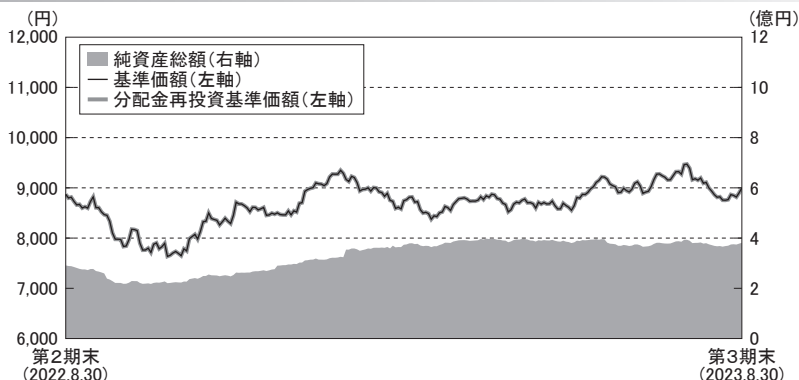
(注)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

フィデリティ投信株式会社



1. 運用経過の説明

① 基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、2022年8月30日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

② 基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの騰落率は、+1.4%でした。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界の新興国の株式等へ投資を行います。

<プラス要因>

- ・ 金融及び情報技術が好調に推移したこと
- ・ 台湾株及び韓国株が好調だったこと
- ・ POSCO Groupなどの銘柄がプラスに寄与したこと

<マイナス要因>

- ・ 一般消費財・サービス、公益事業が低迷したこと
- ・ 中国株が低調だったこと
- ・ Adani Powerなどの銘柄がマイナスに寄与したこと

③ 1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	2022年8月31日～2023年8月30日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	35円	0.407%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は8,681円です。
(投信会社)	(14)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(19)	(0.220)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	9	0.100	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(0)	(0.004)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
(監査費用)	(2)	(0.023)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
(その他)	(6)	(0.073)	その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	44	0.507	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

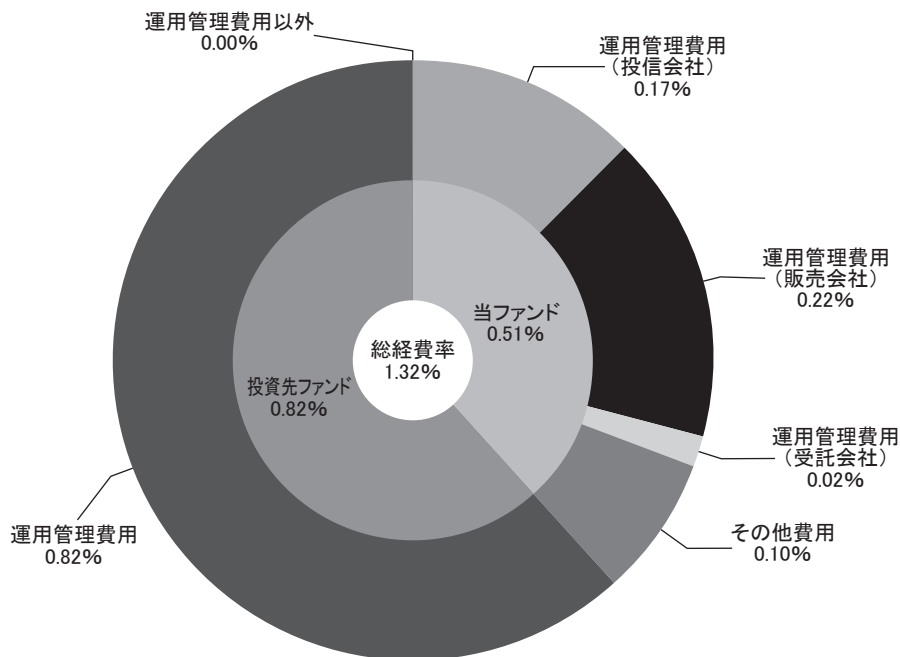
(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.32%です。



総経費率(①+②+③)	1.32%
①当ファンドの費用の比率	0.51%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.82%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4)各比率は、年率換算した値です。

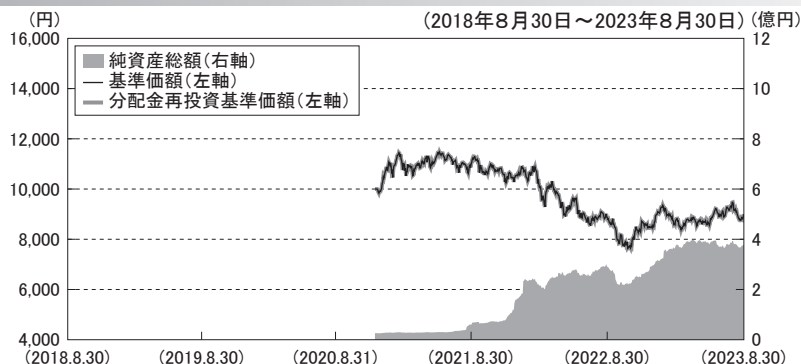
(注5)投資先ファンドとは、当ファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注6)①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7)①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

④最近5年間の基準価額等の推移



	2020年12月15日 設定日	2021年8月30日 決算日	2022年8月30日 決算日	2023年8月30日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,983	8,871	8,998
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	9.8	△19.2	1.4
純資産総額 (百万円)	26	60	291	381

(注1) 分配金再投資基準価額は、当ファンドの設定日(2020年12月15日)を起点として計算しています。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑤投資環境

当期の世界の新興国株式市場は上昇しました。期初は、ウクライナ侵攻の長期化、インフレ率の上昇に伴う金融引き締め、中国の景気減速といった材料が投資家心理の重石となりました。一方、2022年後半から2023年前半にかけては、インフレ率の低下、中国の厳格なゼロ・コロナ政策からの意表を突いた経済再開、米国の経済指標の改善など、前向きな動向が相場を下支えする展開となりました。しかし、米連邦準備制度理事会(FRB)の積極的な金融引き締めへの懸念や米地方銀行の破綻などを背景に、再び投資家心理は冷え込む形となりました。また、米中間の地政学的緊張の高まりや中国における景気回復の遅れに対する懸念が、更に投資家心理の悪化をもたらす結果となりました。その後、8月に入り、中国人民銀行による個人消費下支えのための予想に反した利下げ実施、といった中国における景気対策の強化が投資家心理を下支えました。このような背景の下、市場は中南米を筆頭に、欧州・中東・アフリカ(EMEA)、アジアの新興国が続く形で、全地域において上昇する結果となりました。セクター別では、情報技術とエネルギーが良好なパフォーマンスとなった一方、公益事業とヘルスケアは軟調さの目立つ形となりました。

⑥ポートフォリオ

当ファンドは、主として以下の投資信託証券(投資対象ファンド)に投資を行います。なお、短期金融商品に直接投資を行う場合があります。

- ・フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・グローバル・エマージング・マーケット・エクイティ・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)
- ・フィデリティ・ファンズーUSDル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界の新興国の株式等へ投資を行い、投資信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。当期につきましても、そのように運用を行いました。

⑦ベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑧分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第3期
	2022年8月31日～2023年8月30日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	486

- * 「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- * 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- * 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

2. 今後の運用方針

当ファンドにつきましては、「フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・グローバル・エマージング・マーケット・エクイティ・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)」、「フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」の投資信託証券への投資を通じて、実質的な運用を当該ファンドにおいて行います。今後も、弊社のグローバルなリサーチ能力を活用し、質が高く、持続的かつ合理的で予測可能なリターンの実現に向けて、世界中のあらゆる情報を組み合わせ、最高の投資アイデアと投資機会を追求していく方針です。

3. お知らせ

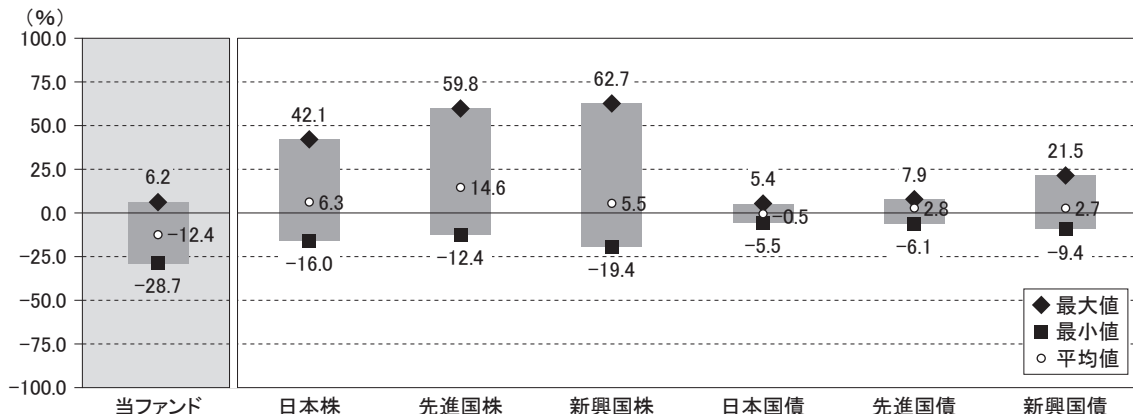
該当事項はありません。

4. 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	原則として無期限(2020年12月15日設定)
運用方針	投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
主要投資対象	主として、「フィデリティ・コモン・コントラクチュアル・ファンドⅡーフィデリティ・グローバル・エマージング・マーケット・エクイティ・ファンド(アイルランド籍外国証券投資信託)」および「フィデリティ・ファンズーUSDドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」に投資を行いません。なお、短期金融商品に直接投資を行なう場合があります。
運用方法	<ul style="list-style-type: none">●主として、投資信託証券に投資を行いません。●投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界の新興国の株式等へ投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
分配方針	毎決算時(原則8月30日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行いません。 <ul style="list-style-type: none">●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行なうものではありません。●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いません。

5. 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 当ファンドは2020年12月15日に設定されたため2021年12月～2023年7月の期間、他の代表的な資産クラスについては2018年8月～2023年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示しております。当グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、指数提供元にて円換算しています。

* 詳細は後述の「指数に関して」をご参照下さい。

6. 当ファンドのデータ

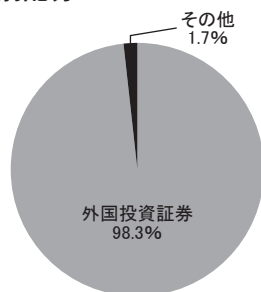
①組入資産の内容

組入上位ファンド

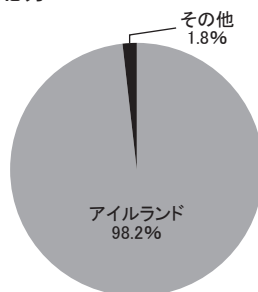
(2023年8月30日現在)

ファンド名	組入比率
フィデリティ・COMMON・CONTRACTUAL・FUNDⅡ-フィデリティ・グローバル・エマージング・マーケット・エクイティ・ファンド	98.2%
フィデリティ・ファンズ-USドル・キャッシュ・ファンド	0.1
組入ファンド数	2ファンド

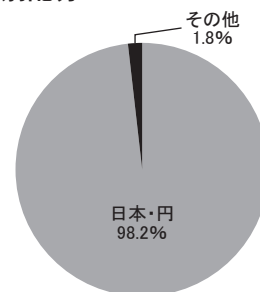
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注3) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

②純資産等

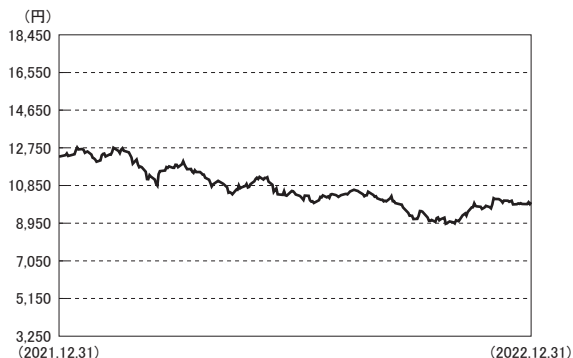
項目	当期末	
	2023年8月30日	
純資産総額		381,269,837円
受益権総口数		423,728,517口
1万口当たり基準価額		8,998円

(注) 当期中における追加設定元本額は270,842,063円、同解約元本額は175,243,470円です。

③組入上位ファンドの概要

フィデリティ・コモン・コントラクト・ファンド-フィデリティ・グローバル・エマージング・マーケット・エクイティ・ファンド（別途記載がない限り2022年12月31日現在）

基準価額の推移



※グラフは、1口当たり純資産価格の推移を示しています。

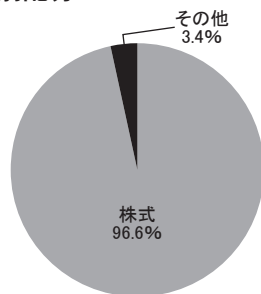
組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC /TWD/	6.0%
2	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD /KRW/	2.6
3	TENCENT HOLDINGS LTD /HKD/	2.4
4	ALIBABA GROUP HOLDING LTD /HKD/	2.1
5	HON HAI PRECISION INDUSTRY /TWD/	1.7
6	AXIS BANK LTD /INR/	1.2
7	HDFC BANK LIMITED /INR/	1.2
8	CHINA MENGNIU DAIRY CO /HKD/	1.1
9	CHINA CONSTRUCTION BANK-H /HKD/	1.1
10	POSCO HOLDINGS INC /KRW/	1.0
組入銘柄数		569銘柄

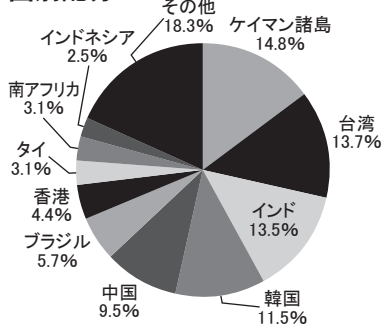
1万口当たりの費用明細

当ファンドの1万口当たりの費用は算出されていないため開示できません。

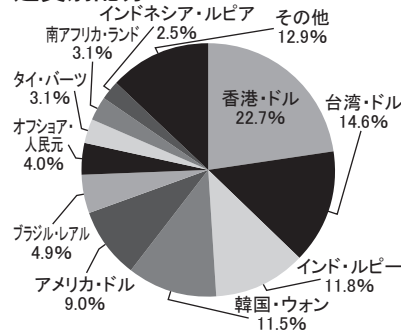
資産別配分



国別配分



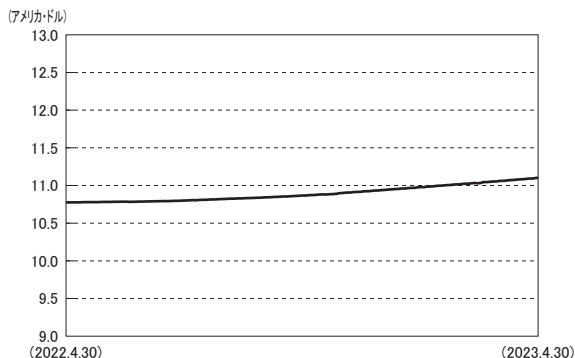
通貨別配分



(注)各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

* Fidelity Internationalの資料に基づき作成しております。

フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド 基準価額の推移



※グラフは、1口当たり純資産価格の推移を示しています。

(別途記載がない限り2023年4月30日現在)

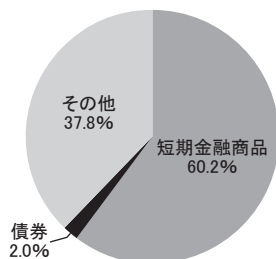
組入上位10銘柄

	銘柄名	国・地域	比率
1	Austria CP 4.85% 03/05/2023	オーストリア	3.5%
2	Sweden CP 4.88% 03/05/2023	スウェーデン	2.9
3	Mitsu Finance CP 4.98% 17/05/2023	イギリス	2.3
4	NAB VCD 0.44% 15/05/2023	オーストラリア	2.3
5	SG Issuer -0.80% 07/03/2024	ルクセンブルグ	2.0
6	Landeskreditbank CP 4.84% 03/05/2023	ドイツ	1.7
7	Royal Bank of Canada CD 0.46% 04/05/2023	カナダ	1.7
8	Mizuho London CD 5.50% 05/07/2023	イギリス	1.7
9	Cooperatieve CD 0.48% 17/05/2023	オランダ	1.2
10	Barclays CD 10.03% 02/05/2023	イギリス	1.2
組入銘柄数		59銘柄	

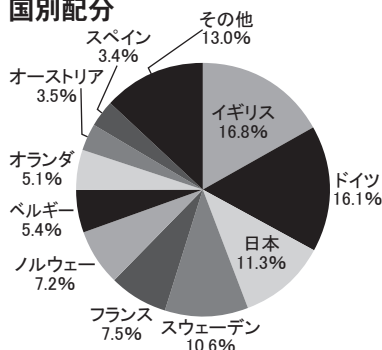
1万口当たりの費用明細

当ファンドの1万口当たりの費用は算出されていないため開示できません。

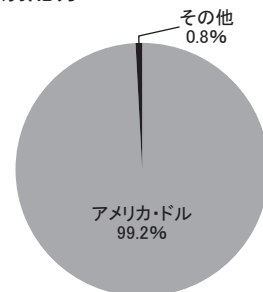
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

(注3) 国・地域及び国別配分は、発行国・地域を表示しています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

指数に関して

●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載の指数について

日本株	TOPIX(配当込)	東証株価指数(TOPIX)(以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、エマージング諸国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
日本国債	NOMURA-BPI 国債	NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びNOMURA-BPI 国債に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)	この情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J. P. モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。このインデックスは使用許諾を得て使用しています。 J. P. モルガンによる書面による事前の承諾なくこのインデックスを複写、使用、頒布することは禁じられています。 Copyright © 2022 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複写・転載を禁じます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

さて、「フィデリティ・世界リート・ファンド(ファンドラップ専用)」は、第3期の決算を行ないました。当ファンドは、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている不動産投資信託証券(リート)を主要な投資対象とし、配当等収益の確保と投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

<お問合せ先>

フィデリティ投信株式会社
カスタマー・コミュニケーション部
東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 **0120-00-8051** (無料)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページから下記の手順で閲覧、ダウンロードできます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報」より「基準価額一覧」を選択⇒当ファンドの「運用レポート目録見書等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

フィデリティ・世界リート・ファンド (ファンドラップ専用)

追加型投信 / 内外 / 不動産投信

交付運用報告書

第3期(決算日 2023年8月30日)
作成対象期間(2022年8月31日～2023年8月30日)

日経新聞掲載名: フリートFW

第3期末
(決算日 2023年8月30日)

基準価額	9,951円
純資産総額	167百万円
第3期 (2022年8月31日～2023年8月30日)	
騰落率	△13.9%
分配金合計	0円

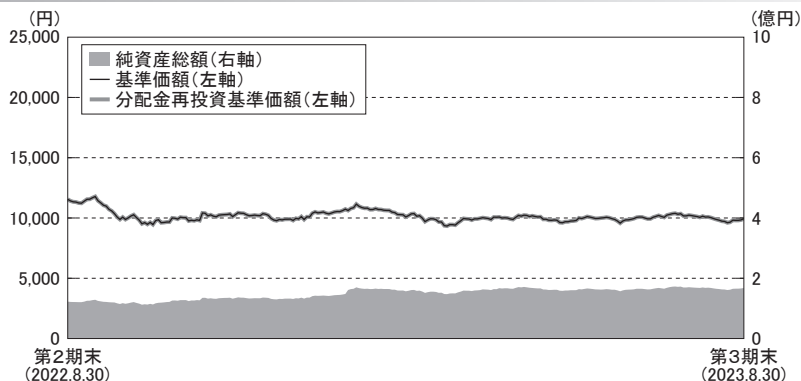
(注)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

フィデリティ投信株式会社



1. 運用経過の説明

① 基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、2022年8月30日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

② 基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの騰落率は、-13.9%でした。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界の不動産投資信託証券(リート)等へ投資を行います。

<プラス要因>

- ・ 特になし

<マイナス要因>

- ・ 複合セクターの一部が下落したこと
- ・ オランダ及び日本の不動産が軟調だったこと

③ 1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	2022年8月31日～2023年8月30日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	84円	0.825%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は10,148円です。
(投信会社)	(59)	(0.583)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(22)	(0.220)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.002	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(投資証券)	(0)	(0.002)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	2	0.020	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(投資証券)	(2)	(0.020)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	12	0.120	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(2)	(0.020)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
(監査費用)	(4)	(0.042)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
(その他)	(6)	(0.058)	その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	98	0.968	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

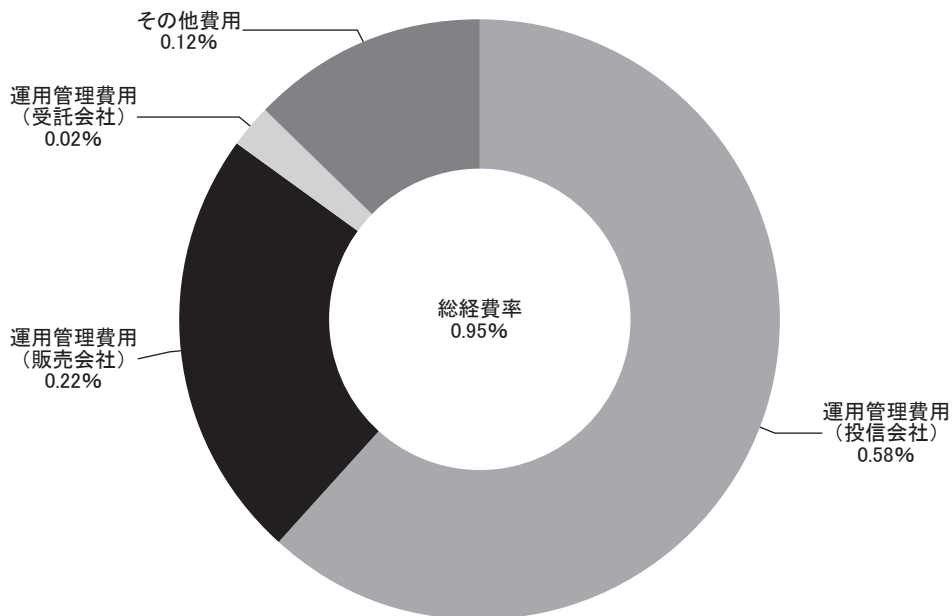
(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.95%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

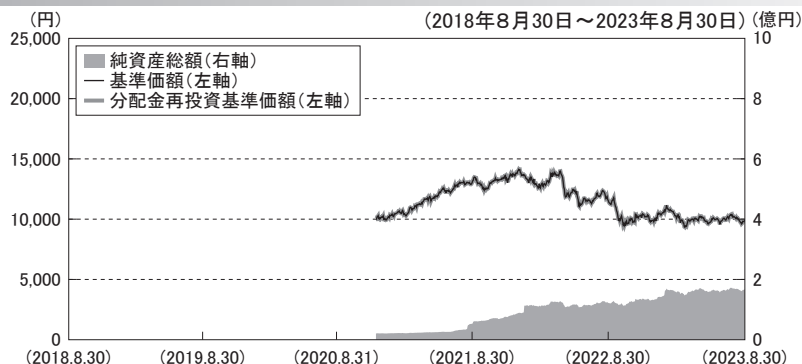
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

④最近5年間の基準価額等の推移



	2020年12月15日 設定日	2021年8月30日 決算日	2022年8月30日 決算日	2023年8月30日 決算日
基準価額 (円)	10,000	13,022	11,551	9,951
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	30.2	△11.3	△13.9
純資産総額 (百万円)	20	53	122	167

(注1) 分配金再投資基準価額は、当ファンドの設定日(2020年12月15日)を起点として計算しています。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑤投資環境

当期の世界のリート市場は、長引くインフレ、金利上昇、物件における稼働率の低下といった材料が投資家に懸念され、下落して期を終えました。また、全てのセクターで下落する展開となりました。国別では、米国の住宅市場は、米連邦準備制度理事会(FRB)がインフレへの対応として金融引き締めを継続したことが、市場の下落圧力となりました。また、住宅ローン金利の上昇が消費者の需要を抑制し、市場に継続的な下落をもたらす形となりました。一方、2022年12月の米国の中古住宅販売件数は12年ぶりの最低水準に落ち込みましたが、その後、下落率は鈍化し、市場の低迷は底を打ったのではないかという慎重ながらも楽観的な見方が広がりました。アジアに目を向けると、香港のリート市場は、中国の景気刺激策に対する懸念から急落する展開となりました。中国における景気回復の失速が不動産市場の重荷となった格好となり、期末にかけては、弱い経済指標の発表を受け、投資家は中国の成長鈍化の影響を慎重に見極めるスタンスとなりました。日本の不動産市場は、日銀のハト派的な政策スタンスにもかかわらず、下落圧力を受ける展開となりました。日銀は2023年4月の金融政策決定会合でイールドカーブ・コントロール(YCC)によるマイナス金利政策を維持する一方、政策金利に関するフォワードガイダンスを廃止し、過去の政策措置を幅広く見直すことを明らかにしました。英国のリート市場は、下落しました。英国が先進国市場で最も高いインフレ率への対応に苦慮する中、英イングランド銀行(中央銀行、BOE)が積極的な利上げに踏み切ったことから、住宅ローン金利が一段と上昇する形となったこと、などがその背景です。

⑥ポートフォリオ

当ファンドは、フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている不動産投資信託証券(リート)を主要な投資対象とし、配当等収益の確保と投資信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。当期につきましても、そのように運用を行いました。

⑦ベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑧分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第3期
	2022年8月31日～2023年8月30日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	2,040

- * 「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- * 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- * 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

2. 今後の運用方針

当ファンドにつきましては、フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的な運用を当該ファンドにおいて行います。今後も、弊社のグローバルなリサーチ能力を活用し、質が高く、持続的かつ合理的で予測可能なリターンの実現に向けて、世界中のあらゆる情報を組み合わせ、最高の投資アイデアと投資機会を追求していく方針です。

3. お知らせ

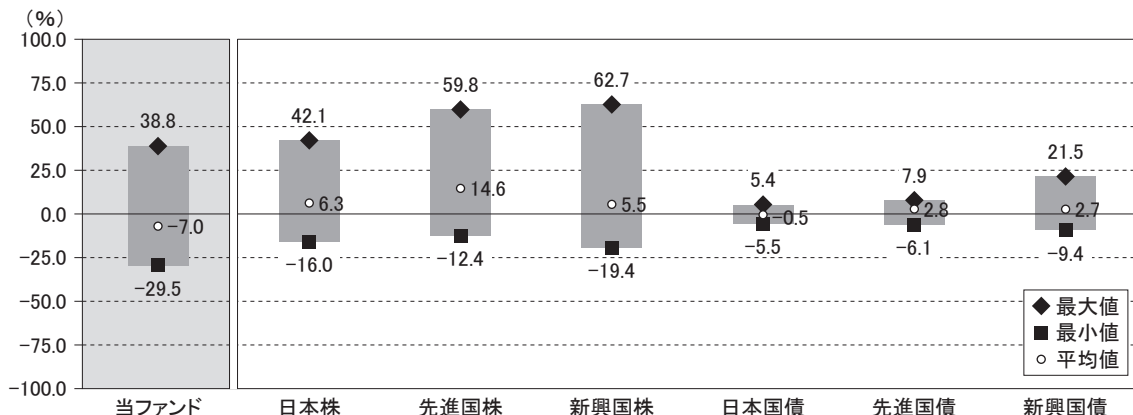
該当事項はありません。

4. 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信	
信託期間	原則として無期限(2020年12月15日設定)	
運用方針	投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。	
主要投資対象	ベビー・ファンド	フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド受益証券を主要な投資対象とします。
	フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド	日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている不動産投資信託証券(リート)を主要な投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none">●フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている不動産投資信託証券(リート)を主要な投資対象とし、配当等収益の確保と投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。●マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。●FILインベストメンツ・インターナショナルに、運用の指図に関する権限を委託します。	
分配方針	<p>毎決算時(原則8月30日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行いません。</p> <ul style="list-style-type: none">●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行なうものではありません。●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いません。	

5. 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 当ファンドは2020年12月15日に設定されたため2021年12月～2023年7月の期間、他の代表的な資産クラスについては2018年8月～2023年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示しております。当グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、指数提供元にて円換算しています。

* 詳細は後述の「指数に関して」をご参照下さい。

6. 当ファンドのデータ

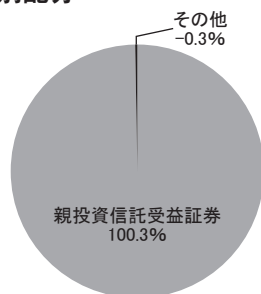
①組入資産の内容

組入上位ファンド

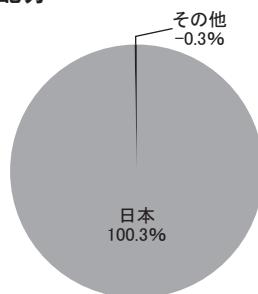
(2023年8月30日現在)

ファンド名	組入比率
フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド	100.3%
組入ファンド数	1ファンド

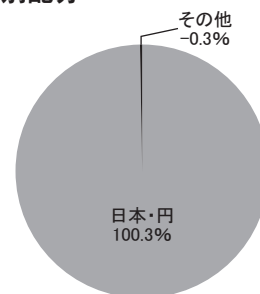
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注3) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

②純資産等

項目	当期末
	2023年8月30日
純資産総額	167,785,897円
受益権総口数	168,613,795口
1万口当たり基準価額	9,951円

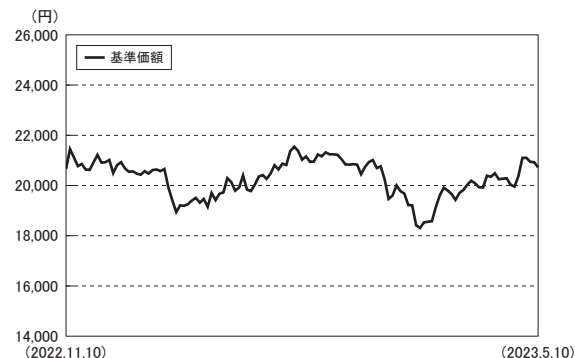
(注) 当期中における追加設定元本額は90,473,334円、同解約元本額は27,808,159円です。

③組入上位ファンドの概要

フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド

(別途記載がない限り2023年5月10日現在)

基準価額の推移



組入上位10銘柄

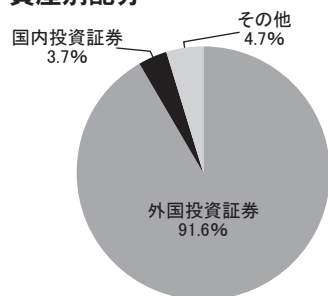
	銘柄名	通貨	比率
1	PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	8.9%
2	INVITATION HOMES INC	アメリカ・ドル	6.6
3	PUBLIC STORAGE INC	アメリカ・ドル	6.5
4	AMERICAN HOMES 4 RENT CL A	アメリカ・ドル	6.4
5	EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES	アメリカ・ドル	6.2
6	DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ・ドル	5.9
7	EQUITY RESIDENTIAL	アメリカ・ドル	5.1
8	CAMDEN PROPERTY TRUST - REIT	アメリカ・ドル	4.7
9	HEALTHPEAK PPTYS INC	アメリカ・ドル	4.5
10	WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	4.4
組入銘柄数		24銘柄	

1万口当たりの費用明細

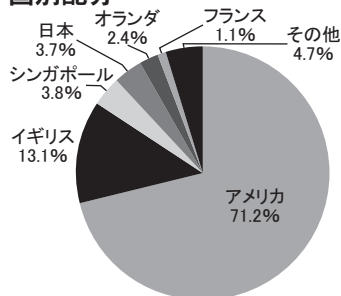
(2022年11月11日～2023年5月10日)

項目	金額
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	0円 (0)
(b) 有価証券取引税 (投資証券)	3 (3)
(c) その他費用 (保管費用)	1 (1)
合計	4

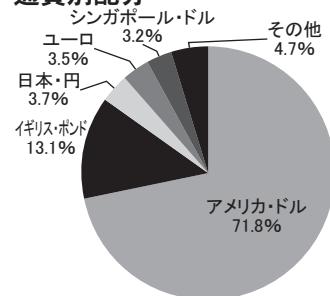
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、前述の「1万口当たりの費用明細」の項目の概要および注記をご参照ください。

(注2) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注3) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注4) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* マザーファンドの計算期間は当ファンドの作成対象期間と異なります。マザーファンドの運用経過および組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

指数に関して

●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載の指数について

日本株	TOPIX(配当込)	東証株価指数(TOPIX)(以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、エマージング諸国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
日本国債	NOMURA-BPI 国債	NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びNOMURA-BPI 国債に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)	この情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J. P. モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。このインデックスは使用許諾を得て使用しています。 J. P. モルガンによる書面による事前の承諾なくこのインデックスを複写、使用、頒布することは禁じられています。 Copyright © 2022 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複写・転載を禁じます。